

# 第 3 編

## 統 計 編



# 第1章 病院事業統計

## 1 総括

区分	令和2年度	令和3年度					合計
		循環器系	呼吸器系				
			一般	結核	感染症		
外来	初診患者数 (1日平均)	3,531人 (14.5人)	2,213人 (9.1人)	1,632人 (6.7人)	-	-	3,845人 (15.9人)
	延べ患者数 (1日平均)	67,684人 (278.5人)	39,420人 (162.9人)	28,404人 (117.4人)	-	-	67,824人 (280.3人)
	実診療日数	243日	242日	242日	-	-	242日
入院	稼働病床数	343床	292床	※ 30床	21床	343床	
	入院患者数 (1日平均)	5,368人 (14.7人)	3,120人 (8.5人)	1,762人 (4.8人)	0人 (0.0人)	126人 (0.3人)	5,008人 (13.7人)
	退院患者数 (1日平均)	5,413人 (14.8人)	3,121人 (8.6人)	1,797人 (4.9人)	0人 (0.0人)	92人 (0.3人)	5,010人 (13.7人)
	延べ患者数 (1日平均)	77,516人 (212.4人)	43,536人 (119.3人)	23,335人 (63.9人)	0人 (0.0人)	1,371人 (3.8人)	68,242人 (187.0人)
	病床利用率	61.9%	62.7%	0.0%	17.9%	54.5%	
	平均 在院日数	14.4日	13.6日	0.0日	12.6日	13.6日	

※コロナ患者受け入れのため、R3年度は結核病床を休止。

## 2 外来患者数

### (1) 月別外来患者状況

(単位:人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
診療日数	21	18	22	20	21	20	21	20	20	19	18	22	242
初診患者数	289	275	307	283	261	290	402	398	369	326	303	342	3,845
診療患者延べ数	5,723	5,155	5,929	5,830	5,259	5,481	6,185	5,756	5,912	5,476	5,136	5,982	67,824
1日平均患者数	272.5	286.4	269.5	291.5	250.4	274.1	294.5	287.8	295.6	288.2	285.3	271.9	280.3

### (2) 診療科別外来患者状況

(単位:人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
循環器内科	1,727	1,526	1,825	1,695	1,587	1,592	1,954	1,733	1,903	1,679	1,569	1,898	20,688
腎臓内科	280	256	250	258	249	245	271	249	279	256	259	284	3,136
心臓外科	323	327	307	325	304	324	348	312	325	269	279	351	3,794
血管外科	637	511	595	616	533	624	645	631	649	643	581	667	7,332
放射線科	165	196	288	367	204	149	158	177	132	182	263	210	2,491
呼吸器内科	1,766	1,620	1,779	1,772	1,624	1,683	1,790	1,792	1,761	1,603	1,436	1,715	20,341
緩和ケア内科	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
呼吸器外科	299	272	331	298	273	285	448	333	293	320	276	342	3,770
消化器外科	130	118	114	110	126	161	165	132	126	119	95	126	1,522
脳神経外科	374	316	419	368	338	383	373	366	422	387	362	362	4,470
リハビリテーション科	20	13	20	19	17	33	31	29	20	17	14	27	260
その他	1	0	0	2	4	2	2	2	2	1	2	0	18
計	5,723	5,155	5,929	5,830	5,259	5,481	6,185	5,756	5,912	5,476	5,136	5,982	67,824

### 3 入退院患者数

#### (1) 月別入退院状況

(単位:人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院患者数	437	372	418	430	353	343	433	446	429	503	414	430	5,008
退院患者数	456	390	405	433	359	360	413	414	491	441	419	429	5,010
死亡患者内数	23	19	8	18	14	16	12	21	28	22	18	20	219
月末在院患者数	167	149	162	159	153	136	156	188	126	188	183	184	-
入院患者延べ数	6,070	5,422	5,133	5,631	5,105	4,837	5,289	5,837	6,202	6,534	5,902	6,280	68,242
1日平均患者数	202.3	174.9	171.1	181.6	164.7	161.2	170.6	194.6	200.1	210.8	210.8	202.6	187.0
病床利用率	59.0%	51.0%	49.9%	53.0%	48.0%	47.0%	49.7%	56.7%	58.3%	61.5%	61.5%	59.1%	61.9%

#### (2) 診療科別入院状況

(単位:人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
循環器内科	144	142	167	152	92	113	171	167	153	164	141	163	1,769
	1,714	1,565	1,762	1,497	1,166	1,225	1,400	1,613	1,775	1,759	1,557	1,837	18,870
腎臓内科	8	4	7	5	6	3	2	9	3	3	9	5	64
	203	112	102	103	97	48	44	88	62	75	146	206	1,286
心臓外科	19	12	15	16	1	17	20	13	9	16	9	11	158
	574	470	511	486	319	350	602	457	492	466	399	464	5,590
血管外科	44	26	46	33	34	39	43	38	39	45	28	39	454
	500	338	403	380	373	466	501	480	513	481	358	427	5,220
呼吸器内科	131	120	104	141	157	95	101	117	127	169	130	126	1,518
	1,719	1,678	1,431	1,921	2,181	1,624	1,222	1,650	1,681	2,041	1,929	1,818	20,895
緩和ケア内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器外科	23	12	26	25	21	19	27	25	19	28	24	23	272
	244	221	273	276	227	196	266	255	235	262	236	276	2,967
消化器外科	11	5	6	9	6	10	13	9	6	9	7	7	98
	73	25	24	84	43	119	119	110	68	49	80	50	844
脳神経外科	57	51	47	49	36	47	56	68	73	69	66	56	675
	1,043	1,013	627	884	699	809	1,135	1,184	1,376	1,401	1,197	1,202	12,570
計	437	372	418	430	353	343	433	446	429	503	414	430	5,008
	6,070	5,422	5,133	5,631	5,105	4,837	5,289	5,837	6,202	6,534	5,902	6,280	68,242

※上段は実数、下段は延べ数。

#### 4 放射線技術部統計

##### 一般撮影

一般撮影部門の業務内容としては、胸腹部の単純撮影のほか、全身の骨撮影、病棟や手術室でのポータブル撮影、消化管造影検査などを行っている。業務実績としては、COVID-19感染症増加に伴う診察制限のあるなか、総患者数は前年比96.9%と概ね横ばいとなった。感染症撮影室では、前年度はCOVID-19患者の影響もあり感染症患者の占める割合は増加傾向にあったが、今年度は前年比71.3%と減少に転じた。消化管造影では、その他の検査に関して前年比151.2%となった。その中でも嚥下造影が前年比191.2%の増加となった。

放射線技術部一般撮影部門としては、今後も誠意と熱意をもって質の高い医療と安全な医療の提供に努めていく。

なお、電子カルテの更新に伴い、内視鏡検査（気管支ファイバー、大腸ファイバー）は放射線技師が検査に携わっている場合のみの集計とした。

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総患者数(人)	4445	4117	4282	4402	3899	3951	4380	4412	4570	4496	4055	4483	51492
一般撮影(感染症)	174	183	114	173	218	120	2	0	15	102	117	108	1326
胸部	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
腹部	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
一般撮影(本館棟)	2963	2576	2870	2818	2456	2445	2900	2972	2990	2925	2479	2827	33221
胸部	224	161	217	250	216	251	302	270	268	306	232	286	2983
腹部	24	17	16	13	11	12	16	28	22	32	29	40	260
頭部・顔面その他	33	31	31	43	23	42	20	32	34	34	45	44	412
脊椎	11	12	10	14	16	13	13	16	18	14	14	29	180
四肢・その他骨	832	957	814	881	780	885	916	880	979	876	942	922	10664
病室撮影	126	146	141	157	145	122	150	145	171	152	146	160	1761
胸部	0	1	2	1	0	0	1	0	0	0	1	1	7
腹部	35	18	37	30	18	36	33	34	33	29	32	36	371
手術室	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
消化管造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胃(食道を含む)	0	0	0	0	0	2	1	0	0	2	1	0	6
注腸	3	2	5	6	1	5	4	6	8	6	5	11	62
その他	18	13	25	15	14	17	22	29	32	18	12	17	232
内視鏡	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
気管支ファイバー													
大腸ファイバー													

## MR I 令和3年度集計

今年度のMR I 検査は、総患者数で前年度比110%、総件数で前年度比116%と増加した。検査部位別では、頭部単純（110%）、頭部造影（106%）、頸部（130%）、脊椎（120%）、心臓（130%）、腹部（128%）と多くの検査部位で増加した。新型コロナウイルス感染症の影響で前年より件数の少ない月もあったが、総患者数、総件数は新型コロナウイルス感染症流行以前よりも増加した。また、本年度も当直時間帯における緊急MRI検査施行体制を1年間通して維持し、443人の救急患者に対してMRI検査を施行した。MRI検査は診療時間の枠を超えて高度専門医療の提供による患者サービスの向上に貢献できたものと思われる。

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総患者数(人)	377	339	376	373	315	348	435	452	474	391	346	338	4564
総件数(件)	550	497	558	554	465	515	670	676	730	610	552	527	6904
頭部	292	258	287	292	234	265	319	344	356	297	265	254	3463
単純 造影	38	39	42	37	45	39	58	55	63	50	34	37	537
頸部	173	158	182	181	150	167	235	224	256	219	206	189	2340
頸椎	1	1	2	3	4	3	4	4	4	1	2	3	32
胸椎	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	6
腰椎	2	0	0	4	0	1	5	5	1	1	6	1	26
[脊椎]	[4]	[2]	[2]	[7]	[5]	[5]	[9]	[9]	[6]	[2]	[8]	[5]	[64]
胸部	3	0	0	3	4	2	2	2	2	3	2	2	25
心臓	15	16	19	19	5	14	14	14	19	14	12	16	177
腹部	8	11	7	6	7	3	12	12	12	7	8	14	107
骨盤	0	1	0	0	1	2	2	2	1	2	0	1	12
四肢	17	12	19	9	14	18	19	14	15	16	17	9	179

## CTについて

CT室はDiscovery750HDCT (GE) とIQon Spectral CT(Philips) の2台体制で検査をおこなっている。  
 土日休日夜勤帯は主にDiscovery750HDCTを、日勤帯の冠動脈、PreTAVI、左房はIQon Spectral CTにて行っている。  
 2021年度は、Covid対応の頻度がたかく、code-C発令の造影CTなど煩雑な検査が多岐にわたって要求された。  
 人数、件数ともに復調し、昨年度より5%程度増加した。  
 CTは短時間で簡便に患者さんの全身状態が把握できることから、総件数に占める予外や急患の割合が高い検査である。  
 より柔軟に対応できるように努め、装置更新によって導入された新機能も利用し、High Qualityな検査を提供していきたい。

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比[%]
患者数(人)	1309	1172	1203	1324	1061	1244	1461	1383	1274	1363	1228	1339	15361	14666	105
検査件数	2884	2468	2757	2876	2242	2698	3206	2970	2755	2561	2276	2882	32575	31397	104

### 【詳細】

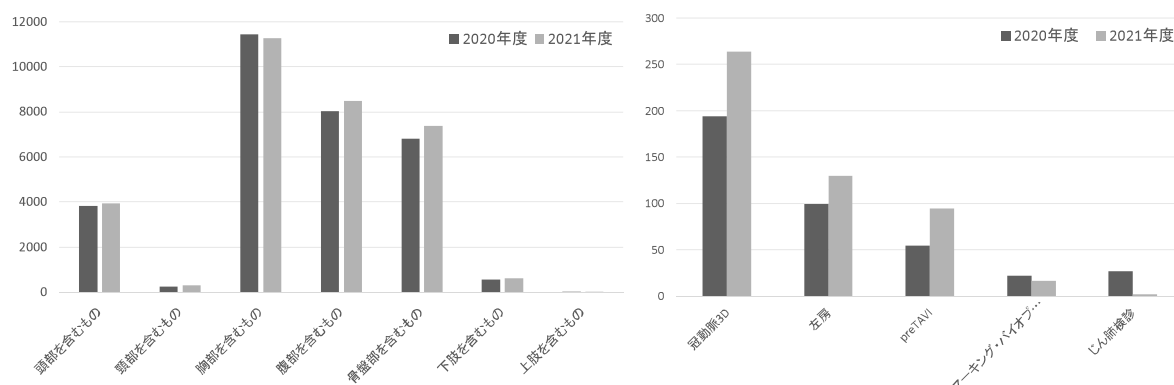
区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭部を含むもの	単純	312	281	262	305	224	283	371	350	354	240	237	328	3547
	造影	43	43	31	34	25	30	29	38	39	27	34	46	419
頸部を含むもの	単純	5	13	4	5	8	3	5	5	8	2	3	8	69
	造影	23	28	16	16	14	21	15	22	22	10	23	22	232
胸部を含むもの	単純	822	721	844	900	688	807	879	790	746	795	664	848	9504
	造影	168	132	131	127	113	143	202	189	152	137	123	160	1777
腹部を含むもの	単純	554	468	585	607	451	534	599	532	528	519	455	558	6390
	造影	194	155	151	145	137	166	237	234	189	168	153	182	2111
骨盤部を含むもの	単純	478	399	493	522	373	464	505	462	446	419	364	464	5389
	造影	183	144	141	136	131	161	231	225	177	162	147	176	2014
下肢を含むもの	単純	25	13	22	24	19	27	23	30	19	12	11	19	244
	造影	29	30	26	18	29	29	40	50	41	35	33	27	387
上肢を含むもの	単純	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	造影	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
冠動脈3D	造影	26	18	28	19	12	14	38	22	22	17	19	29	264
左房	単純	5	6	8	12	9	7	9	9	5	9	3	2	84
	造影	3	9	6	1	3	3	5	3	2	4	3	4	46
preTAVI	造影	13	5	7	5	3	5	15	7	5	4	4	5	78
マーキングおよび肺生検		1	2	2	0	1	1	3	2	0	1	0	4	17
じん肺検診		0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2

### ～集計方法～

- ・頭頸部3DCTAならば頭部1件、頸部1件 胸腹部骨盤部ならば胸部1件、腹部1件、骨盤部1件となる
- ・昨年度までの四肢末梢血管は「上肢を含むもの」と「下肢を含むもの」の合算となる

### ～注釈～

- ・左房とはカテーテルアブレーション術前後に行われる左房描出を目的とした検査のこと
- ・pre TAVIとはTAVI(経カテーテル大動脈弁植込み術)術前の大動脈弁およびアクセスルートの描出を目的とした検査のこと



### 【Covid19のCT対応について】

- ・土日休日、夜勤帯はリニアック棟の放射線治療計画用CTにて対応
- ・日勤帯は本館棟1Fもしくはリニアック棟のCTにて対応
- ・造影CTは日勤帯に本館棟1FのCTにて対応

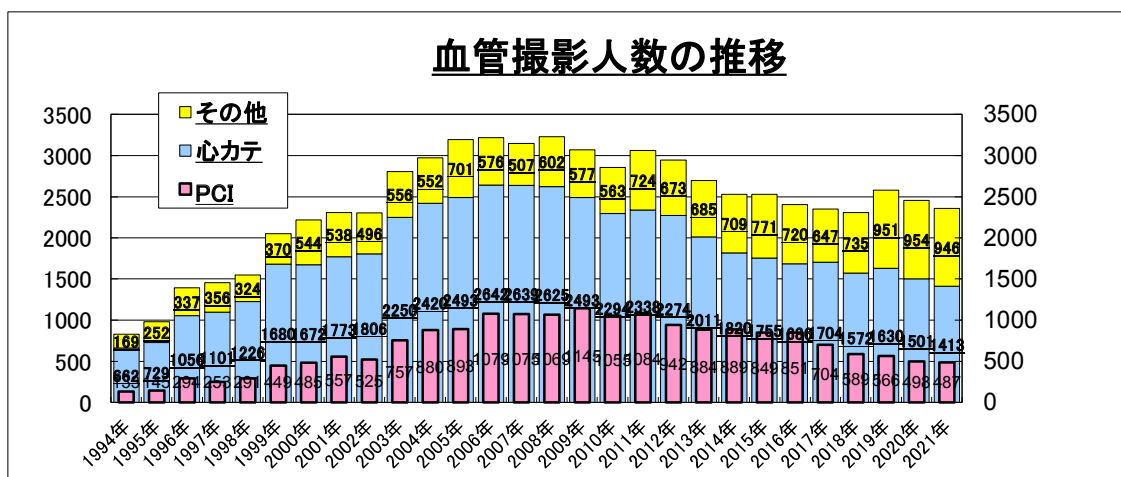
## 血管造影

心臓カテーテル室、ハイブリット手術室および外科用イメージ装置を用いて、心臓カテーテル検査・治療、経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）、経皮的僧帽弁クリップ術（マイトラクリップ）、経皮的大動脈弁形成術（PTAV）、慢性肺動脈血拴塞性肺高血圧症（CTEPH）に対するバルーン肺動脈形成術（BPA）、脳血管内手術、経皮的脳血栓回収術、下肢・シャントPTA、カテーテルアブレーション、急性動脈閉塞に対する血栓除去術、ペースメーカー植込み・交換等の業務に従事している。昨年度もCOVID-19患者受け入れによる診療各科の間欠的な受入制限や血管造影室A・B室の更新工事もあったが、カテーテル総件数は約4%減にとどまった。前年度に対しカテーテルPCIは約4%の減少、アブレーションは20%の増加、ペースメーカーは56%増加、ステントグラフト内挿術は3%の減少、PTAは前年同様、急性動脈閉塞に対する血栓除去術は約20%減少した。

令和3年度  
2021年4月－2022年3月

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	合 計
総患者数	206	193	239	184	129	163	223	228	199	184	192	219	2359
心血管造影患者数	119	116	144	114	70	93	142	135	122	115	108	135	1413
診断カテーテル	78	69	95	75	46	70	97	95	83	67	67	87	929
心血管IVR（PCI）	41	47	49	39	24	26	45	40	39	48	41	48	487
POBA	41	47	49	39	24	25	44	39	39	48	37	48	480
ステント	35	41	43	35	21	24	41	33	36	41	30	44	424
ロータブレード	8	2	3	3	1	2	2	3	1	4	3	1	33
ダイヤモンドバック	3	3	1	2	0	0	1	4	0	3	3	0	20
エキシマレーザー	3	9	9	4	0	1	1	5	4	5	0	3	44
DCA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
PTCR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PTSMA	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
BPA	4	4	7	7	5	6	5	7	5	5	3	5	63
PTAV	1	1	4	1	0	2	3	3	3	3	1	0	22
TAVI	5	3	8	7	3	6	5	6	6	5	5	7	66
Mitra Clip	3	4	1	2	2	1	0	2	2	2	0	3	22
WATCHMAN	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
頭頸部血管造影患者数	23	22	17	7	13	11	17	26	19	25	31	13	224
造影検査（診断）	10	9	8	3	6	7	8	17	10	9	15	6	108
頭頸部IVR	13	13	9	4	7	4	9	9	9	16	16	7	116
胸腹部末梢血管造影患者数	59	51	73	45	40	51	62	62	45	35	45	56	624
造影検査（診断）	16	16	42	18	11	11	22	20	8	5	16	23	208
胸腹部末梢血管IVR	43	35	31	27	29	40	40	42	37	30	29	33	416
術中血管造影検査患者数	66	46	65	37	40	43	51	60	51	50	56	49	614
術中Cアーム透視*	12	13	8	7	3	6	10	14	16	15	8	14	126
バルブシネ患者数	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
アブレーション患者数	8	12	16	14	13	12	14	10	12	10	12	14	147
EPS患者数	1	0	2	0	1	1	1	0	0	0	1	17	24
他院画像動画が取込み	2	3	5	1	3	1	3	2	2	5	1	5	33
心血管以外のIVR	56	48	40	31	36	45	49	51	46	46	45	40	532

\*）ペースメーカー透視含む。ペースメーカー詳細はオペ室の業績を参照してください

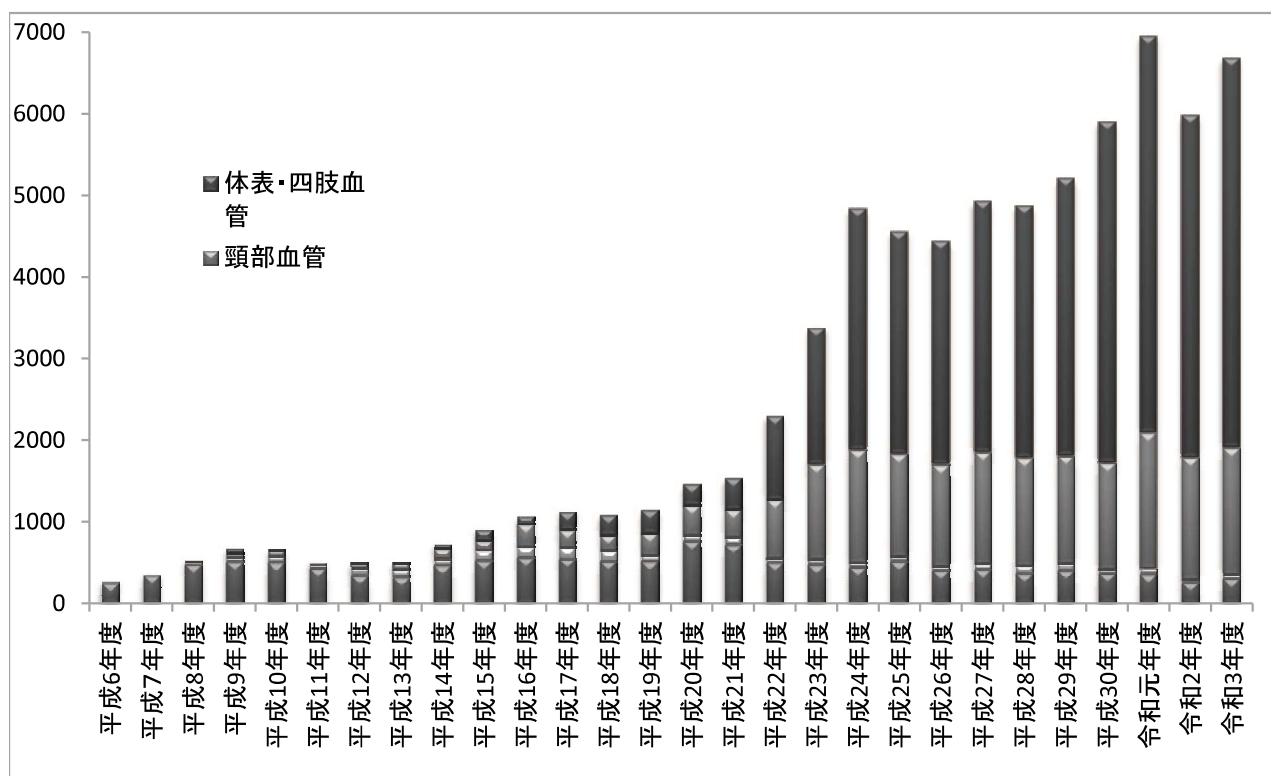




## 超音波検査 令和3年度

放射線技術部では心エコー、経食道エコーを除く頸部血管、甲状腺・乳腺、腹部、四肢血管を行っている。前年度、新型コロナウイルスの影響により外来の受け入れ制限や入院患者数の減少等により検査総件数は減少した。今年度は血管・腹部・表在エコーの全ての検査で検査数も回復傾向にあり、過去2番目の総検査数となった。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス患者においても感染予防を徹底した上で、病棟でのエコー検査を行っている。腹部:15件、表在・甲状腺:1件、頸部血管:3件、体表・四肢血管:104件 計123件の検査を施行。基本的に下肢静脈エコーがメインではあるが、今後も新型コロナウイルス患者に対してのエコー検査に柔軟に対応していきたい。今後は脳外科、血管外科の依頼件数の増加に加え、新型コロナの終息に伴い、呼吸器内科からの依頼件数も増加するものと思われ、次年度は総件数が過去最高になることが予想される。次年度も予約枠などの運用面だけでなく、当日の予約外検査や緊急検査に柔軟に対応できるように超音波検査を行える技師の数をより増やし、検査の質が向上すべく努力していきたい。

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度比[%]	増減[%]	
合計	605	503	542	539	482	548	598	569	555	584	555	604	6684	111.8	11.8	
部位	腹部	19	25	29	28	22	22	32	27	31	22	18	29	304	116.9	16.9
	表在・甲状腺	4	3	1	3	7	7	4	8	5	4	3	3	52	173.3	73.3
	頸部血管	163	124	130	127	99	119	145	132	125	138	130	121	1553	103.8	3.8
	体表・四肢血管	419	351	382	381	354	400	417	402	394	420	404	451	4775	113.8	13.8



## RI 検査

2021年度も2020年度に引き続きCovid-19の蔓延のため診療制限があり減少した。RI検査室業務総人数は前年度より11%減となっている。検査の割合では、脳血流シンチが15%、心筋シンチが49%、骨シンチが31%を占めた。負荷心筋シンチは注射とSPECT撮像を各々2回実施する安静負荷同日法のため、延べ検査数は下表の4倍となる。コロナ禍ではあるが手術患者数は堅調なため、術前検査のTL+BMIPPシンチは前年より28%増加した。外来患者減少のため、負荷心筋シンチは前年度より32%、骨シンチは8%、腫瘍シンチは49%、脳血流シンチは12%減少した。負荷心筋シンチ及び腫瘍シンチの大幅減少についてはRI担当循環器医師不在の影響も大きい。

(単位：人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総 患 者 数	70	61	81	64	56	58	89	93	84	72	63	74	865
脳血流シンチ	2	1	0	2	1	1	2	6	2	1	3	1	22
甲状腺シンチ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安静心筋シンチ	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	2	0	7
安静心筋シンチ (TL+BMIPP)	17	12	15	16	12	11	18	14	16	19	14	13	177
負荷心筋シンチ (負荷安静同日法)	18	17	23	14	13	17	19	18	26	24	20	27	236
肺血流シンチ	11	11	14	13	10	10	13	9	10	9	7	13	130
肺換気シンチ	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	4
レノグラム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨シンチ	18	18	26	18	18	17	31	40	28	18	17	17	266
ガリウムシンチ	4	1	2	0	1	2	4	6	0	0	0	3	23
副腎皮質・髄質シンチ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 放射線治療

2021年度は 新患数160人、総人数2516人であった。Covid19のフェーズ低下に伴い新患数が増加し、総人数も3割程度増加した。部位別にみると、1. 胸部, 2. 乳腺, 3. 泌尿器, 4. 脳脊髄, 5. 骨軟部の順であった。月別治療人数では2月, 6月に比較的多い傾向がみられた。転移性脳腫瘍へのSRS (定位手術的照射)は減少したが, SBRT (肺定位照射)は, コロナ禍においても増加傾向 (12名/年) であった。1位の胸部は当センターの患者様が主体であるが, 2位乳腺, 5位泌尿器(前立腺)などは熊谷、行田、小川、秩父地方などの医療施設からの紹介である。そのため県北地域の放射線治療を行うことのできる認定施設として重要な役割を担っている。またこの統計にはないが放射線治療後フォローアップの診察や, 乳腺患者様のリンパマッサージの指導や計測も行っている。

(人数)

新患160人/年

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
総人数	151	180	287	229	194	117	143	248	198	228	311	230	2516
脳脊髄	4	11	12	14	17	25	18	28	15	10	19	10	183
SRS:脳集光照射	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	4
頭頸部	7	6	0	11	0	0	1	0	0	0	0	0	25
胸部	7	25	82	95	67	47	22	97	134	116	111	124	927
SBRT:肺定位	1	1	1	1	2	2	0	0	2	1	0	1	12
乳腺	0	49	96	50	75	14	60	71	27	33	86	36	597
食道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腹部	7	13	13	0	7	7	3	13	9	6	12	0	90
泌尿器	90	73	62	58	15	2	28	33	4	35	68	42	510
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨軟部	35	2	20	0	11	20	10	6	6	27	14	17	168

## 5 検査技術部統計

令和3年度の検査件数は、1,480,271件で、前年度比97.2%であった。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の診療体制も影響し、前年度と比較して生理検査、輸血検査やCOVID-19に関連した検査分野の細菌検査、病理検査は増加したが、一般検査、生化学検査、血液検査、免疫検査はやや減少した。

### 1) 生理検査

#### 【生理検査全般】

過去5年間の年度別検査件数(分類別)の推移を表1に示す。循環生理は、前年度比103.3%であった。神経生理は、前年度比103.4%であった。呼吸生理・その他は、前年度比108.6%であった。総件数は、前年度比104.2%であった。年度別検査件数の推移(検査項目別)を表2に示す。負荷心電図(トレッドミル、マスター)・モストグラフ・精密PSGで前年度よりも検査数が減少した。しかし、それらの検査以外はすべて前年度よりも件数が増加していた。前年度比の増加率が目立った検査項目は、循環生理では、令和2年度から導入された血管内皮機能(FMD)で230%であった。神経生理では、術中体性感覚誘発電位(SEP)で137%であり、コロナ禍の影響を受けず4年連続の上昇であった。呼吸生理・その他では、簡易PSGで144%であった。これは、精密PSG検査が3年連続の減少とは相反した結果となった。

令和3年度は、3分野すべてにおいて前年度よりも検査件数が微増した。コロナ禍による検査控えからの回復がうかがえる。今後コロナ患者の減少に伴い、患者数の増加が示唆される。生理検査室として感染対策を実施し、今後の動向に対応していきたい。

表1 生理検査件数の年度推移(分類別) (単位:件)

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	検査件数推移	R3年度 前年度比(%)
循環生理	25891	26309	26306	22860	23609		103.3
神経生理	362	341	444	498	515		103.4
呼吸生理・その他	7491	7317	6883	5001	5432		108.6
総件数	33744	33967	33633	28359	29561		104.2

表2 年度別検査件数の推移(各検査項目別 一部抜粋) (単位:件)

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	検査件数推移	R3年度 前年度比(%)
心電図	19978	19854	19740	17342	17760		102.4
ABI	3330	3711	3856	3662	4104		112.1
ホルター心電図	948	1009	928	699	700		100.1
イベント心電図	185	287	352	272	280		102.9
マスター負荷心電図	568	431	466	243	190		78.2
トレッドミル負荷心電図	665	800	556	482	371		77.0
SPP			53	75	82		109.3
FMD				37	85		229.7
脳波	29	17	37	41	74		180.5
誘発筋電図(術中MEP)	45	51	45	100	108		108.0
体性感覚誘発電位(術中SEP)	12	12	72	70	96		137.1
一般肺機能	3630	3844	2872	2804	3058		109.1
特殊肺機能	1362	1167	1332	920	1026		111.5
気道可逆性試験	589	611	699	325	427		131.4
モストグラフ	392	327	460	169	158		93.5
呼気中NO濃度	613	642	813	366	447		122.1
簡易PSG検査	174	121	150	82	118		143.9
精査PSG検査	120	113	104	12	8		66.7

## 【心エコー検査】

令和3年度の心エコー件数は8,696件、経食道心エコー件数は485件であった。  
心エコーは前年比106%（+492件）、経食道心エコーは前年比109%（+41件）であった。  
コロナ渦で緊急事態宣言の影響もありましたが検査件数は増加した（表3、図1）。  
手術室心エコー件数は大きく増加しました。カテ室心エコーなどはやや増加した（表2）。

表3 各年度別件数推移

	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	前年比	5年平均
心エコー	7,081	7,985	8,942	8,204	8,696	106%	8182
経食道心エコー	301	388	490	444	485	109%	422

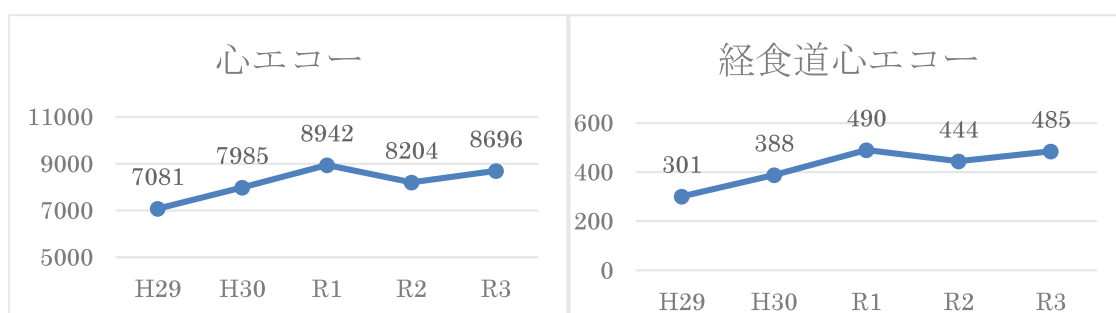


図1 各年度別件数推移

表3 手術室心エコー、カテ室心エコー件数

	R2年度	R3年度
経皮的動脈弁置換術（TAVI）	36	65
経皮的僧帽弁形成術（Mitral Clip）	18	21
左心耳閉鎖術（Watchman）	2	0
経皮的動脈弁形成術（PTAV）	25	22
経皮的中隔心筋焼灼術（PTSMA）	3	2
経皮経静脈的僧帽弁交連切開術（PTMC）	0	1

## 2) 一般検査

昨年に集計方法を変えたので一昨年と比較すると大きく乖離している。インフルエンザ抗原とマイコプラズマ抗原は令和2年度に細菌検査室へ移行した。

令和3年度の総件数は14,624件で前年度比は88.3%であった。尿検査（定性・沈査・他）は90.9%、便検査は103.4%、髄液・穿刺液一般検査は108.9%、抗原検査は61.9%であった。尿検査、髄液・穿刺液一般検査、便検査は昨年度と比べ、大きな変化はなかった。抗原検査はCOVID-19の感染者数が減少し、入院患者も減少したため検査数も昨年度より減少していると考えられる。

今後も質の高い検査結果を提供しつつ、コストパフォーマンスも意識していきたいと考える。

表4 一般検査検体数の年度別推移

(単位:件)

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	前年度比(%)
尿検査(定性・沈査など)	21,823	20,644	22,099	13,965	12,694	90.9
便検査	701	700	607	497	514	103.4
髄液・穿刺液一般検査	374	353	356	236	257	108.9
抗原検査	2,479	2,379	2,409	1,872	1,159	61.9
小計	25,377	24,076	25,471	16,570	14,624	88.3

表5 抗原検査の年度別推移

(単位:件)

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	前年度比(%)
インフルエンザ抗原	1032	1,063	957	325	0	0.0
マイコプラズマ抗原	476	390	452	204	0	0.0
尿中肺炎球菌抗原	496	471	515	675	583	86.4
尿中レジオネラ抗原	475	455	485	668	576	86.2
小計	2,479	2,379	2,409	1,872	1,159	61.9

### 3) 生化学検査

令和3年度の生化学総件数は1,035,413件で、前年度1,079,910件からわずかに低下(前年度比0.96)し、昨年に続き2年連続で減少した。項目別にみると、『生化学検査』および『血糖関連検査』の件数はほぼ横ばいであったのに対し、『ガス分析』および『生化その他』の項目では20~30%程度の減少を認めた(表1)(図1)。ガス分析の件数が、昨年度に比べ20%程度減少した要因については、重症系病棟(ICU, CCU, RCU)における病棟内検査件数が増加したこと、および新型コロナウイルス流行に伴う患者数の減少等が推測された。前者の重症系病棟におけるガス分析件数については、令和2年度で20,000件、令和3年度で27,000件であり、前年比1.35と、大幅に増加を認め、重症系サーバー導入に伴う病棟内検査の普及を反映するデータであった。また、蛋白分画については、依頼数に対し、コストが大きいことから、本年度より院内での検査を取りやめ、外注とした。

今後も、臨床のニーズを尊重し、迅速かつ質の高い検査結果を提供できるよう、生化学検査室の品質と能力向上に努めたい。

表6 生化学検査件数の分類別年度推移

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
生化学	1,130,840	1,170,813	1,170,629	1,026,510	983,282
蛋白分画	462	338	287	174	0
ガス分析	3,636	4,268	4,383	4,834	3,927
生化その他	115	95	132	113	82
血糖関連	56,465	52,696	54,980	48,279	48,122
合計	1,191,518	1,228,210	1,230,411	1,079,910	1,035,413

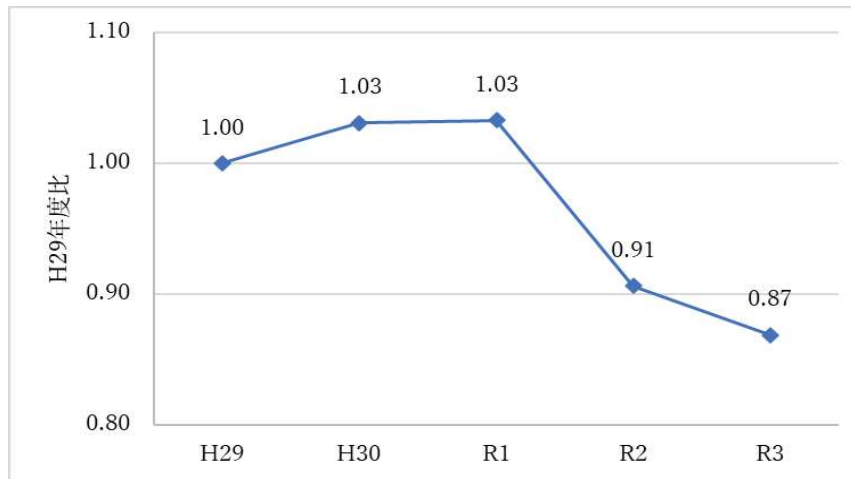


図2 生化学検査総件数の年度推移（平成29年度を1.00として）

#### 4) 血液検査

令和3年度の総件数は、204,334件であった。内訳は、血算・その他は113,480件、凝固は90,854件で、対前年度比は血算・その他は87.2%、凝固は101.0%となり、血算・その他は件数の減少が認められたが、凝固はAPTTが107.0%、PTが105.4%、Dダイマーが105.5%と増加したため、全体としては若干の減少に留まった。

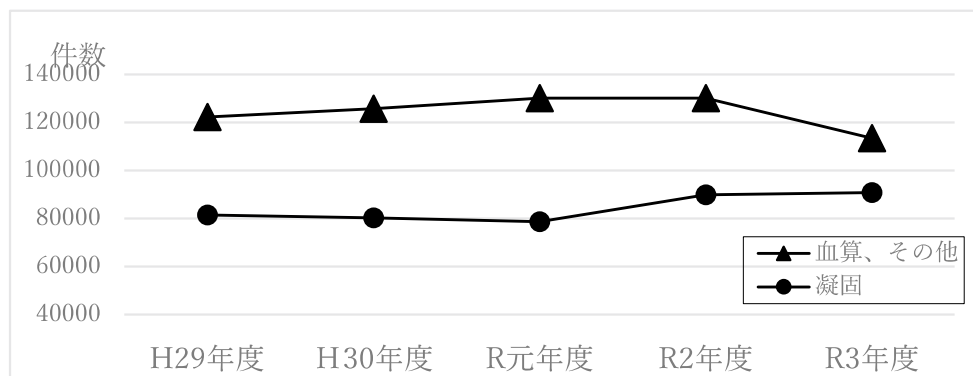


図3 血液検査件数の年度推移

血算・その他の検査件数は減少したが、凝固は若干の増加が認められた。特にDダイマーは5年間増加し続けている。DダイマーはDICの診断、血栓塞栓症の診断に重要な分子マーカーとなっているが、COVID-19においても血栓性病態を評価するマーカーと捉えられており、診療に欠かせない項目となっているため検査件数の増加が続いていると思われる。また、今年度はAPTTも増加したが、治療のモニタリングとしての依頼の増加によるものと思われる。今後も臨床のニーズに対応するため、迅速かつ正確な検査結果を提供していきたい。また、臨床の要望を取り入れた新規項目の導入にも積極的に取り組み、診療支援につなげていきたい。

表7 凝固検査の項目別件数の年度推移

	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度
APTT	24,404	23,378	25,871	25,360	27,124
PT	33,727	33,157	36,423	34,670	36,533
FIB	7,808	8,100	8,468	8,488	7,455
AT	612	585	492	463	416
FDP	3,132	3,016	4,492	3,790	2,937
D ダイマー	10,252	10,216	14,100	15,442	16,296
合計	79,935	78,452	89,846	88,213	90,854

### 5) 免疫検査

令和3年度の総件数は97,844件で前年度比98.5%であった。これは新型コロナウイルス蔓延の影響による外来入院患者の減少が原因と思われる。表8に過去5年間の分類別検査件数を示した。

令和3年8月に院内での薬物血中濃度測定をバンコマイシン、ジゴキシンの2項目のみとし、6項目(テオフィリン、フェニトイン、フェノバルビタール、カルバマゼピン、バルプロ酸、シクロスポリン)を廃止した。前年度に引き続き薬物血中濃度件数が増加しているのは、バンコマイシン血中濃度が増加(令和2年度253件・令和3年度337件)しているためである。

昨年度より追加されたSARS-CoV-2関連検査の内訳は、職員を対象とした抗体検査(1,444件)とSARS-CoV-2抗原検査(1,158件)である。令和2年12月より開始したSARS-CoV-2抗原検査は、新型コロナウイルスの流行により増減はあるが、1か月に100件程度の安定的な依頼がある。

心筋マーカー分類中において令和3年1月より開始したNT-proBNPは、月を追うごとに件数が増加している。この傾向は今後も続くと思われる。

図4には令和元年度を100とした過去3年間の分類別件数の推移を示した。令和元年度と比較すると直近2年間の件数の減少は著しい。令和2年度と令和3年度の比較では、感染症・腫瘍マーカー・血清一般項目の減少は目立つが、心筋マーカーは微増している。

休日夜間を問わず24時間体制で対応している検査は、感染症・プロカルシトニン・トロポニンT・トロポニンI・BNP・NT-proBNP・バンコマイシン血中濃度である。

临床上重要な腫瘍マーカーや薬物血中濃度は、迅速対応を心がけて検査を実施している。

また、新型コロナウイルス抗体検査、職員のワクチン接種前後の中和抗体測定体制の構築等、新型コロナウイルス重症者受け入れ施設の免疫検査室として、臨床からの要望に可能な限り対応している。

今後も正確・迅速な検査実施だけでなく、積極的な情報収集や新規項目導入等を行い、患者サービスの向上を目指した検査体制の構築に臨んでいきたい

表8 免疫検査件数の分類別年度推移

	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度
感染症	27,273	27,589	31,050	26,851	26,024
腫瘍マーカー	25,547	24,301	23,094	15,831	14,625
薬物血中濃度	295	306	229	384	418
血清一般	27,316	27,617	28,882	25,668	24,186
心筋マーカー	33,457	32,009	33,191	29,655	29,989
SARS-CoV-2 関連				925	2,602
合計	113,888	111,822	116,446	99,314	97,844



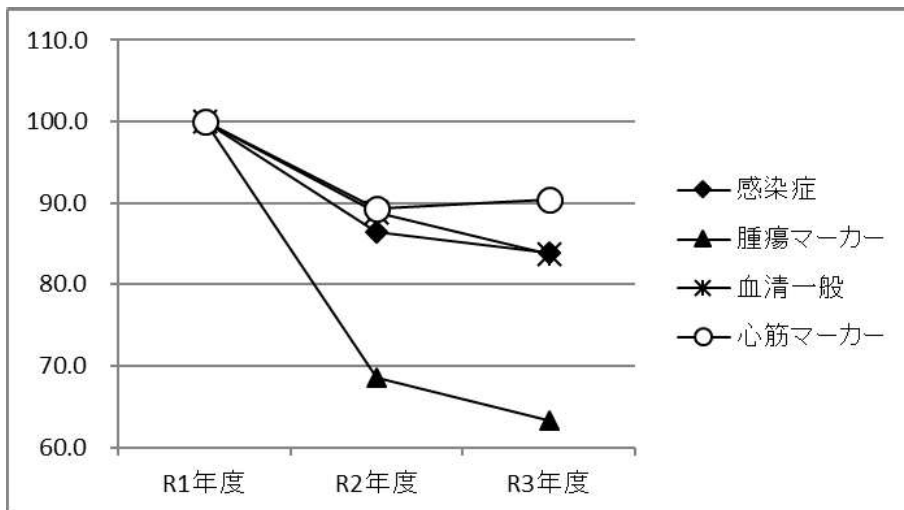


図4 過去3年間の分類別件数の推移

## 6) 輸血検査

令和3年度における血液型関連検査では、血液型検査が10,032件で前年度比98.8%(-119件)、不規則抗体スクリーニング検査が2,734件で前年度比106.0%(+155件)であった。

クロスマッチ関連検査は11,765件で前年度比114.6%(+1,497件)、血液製剤照射は1,869件で前年度比126.5%(+391件)、血液製剤依頼数は2,910件で前年度比113.4%(+344件)であった。

血液製剤使用単位数においてもRBC-LRが5,528単位で前年度比124.8%(+1,100単位)、FFP-LRが3,344単位で前年度比129.4%(+760単位)、PC-LRが9,790単位で前年度比153.6%(+3,415単位)とすべての製剤で増加した。COVID19の影響下においても、当センターの積極的に救急患者を受け入れる診療方針から血液製剤の使用単位数が増加した。

今年度も通常業務時間内だけでなく時間外(当直時)における輸血検査の更なる安全性の向上を図った。また、輸血過誤防止を含めた安全な輸血療法の確立に努めた。

表9 輸血検査件数の年度推移

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
血液型検査(ABO、Rh、直・間接ゲムス)	6,724	6,623	9,615	10,151	10,032
不規則抗体スクリーニング	3,270	3,070	3,085	2,579	2,734
クロスマッチ関連検査	6,938	8,928	10,246	10,268	11,765
血液製剤照射	1,713	2,088	2,030	1,478	1,869
血液製剤依頼	1,957	2,414	2,606	2,566	2,910

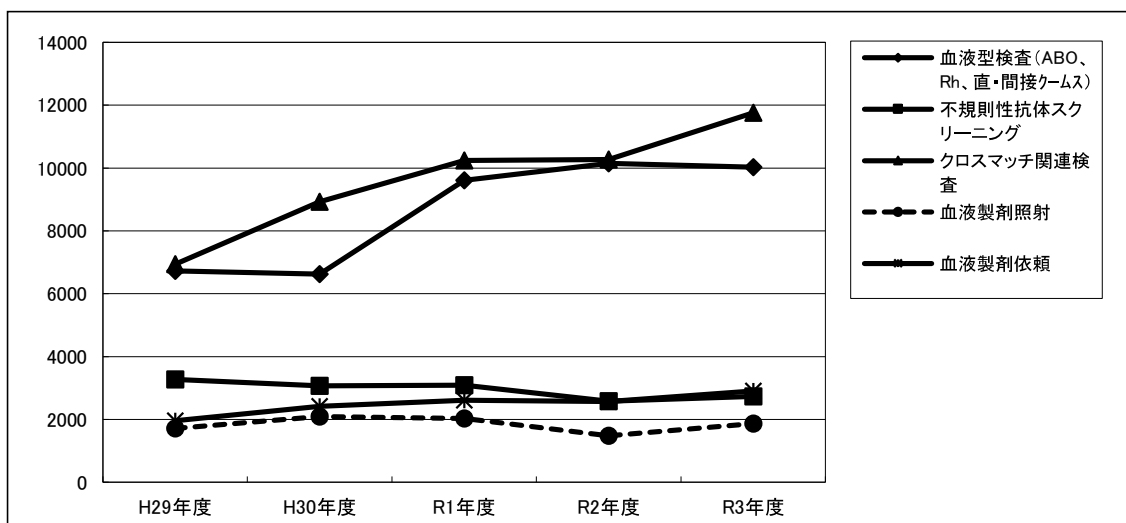


図5 輸血検査件数の年度推移

表10 血液製剤使用数の年度推移 (単位数)

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
RBC (RBC-LR)	3,616	4,547	4,876	4,428	5,528
FFP (FFP-LR)	1,950	2,522	2,966	2,584	3,344
PC (PC-LR)	4,110	6,205	7,125	6,375	9,790
自己血	0	0	0	0	0

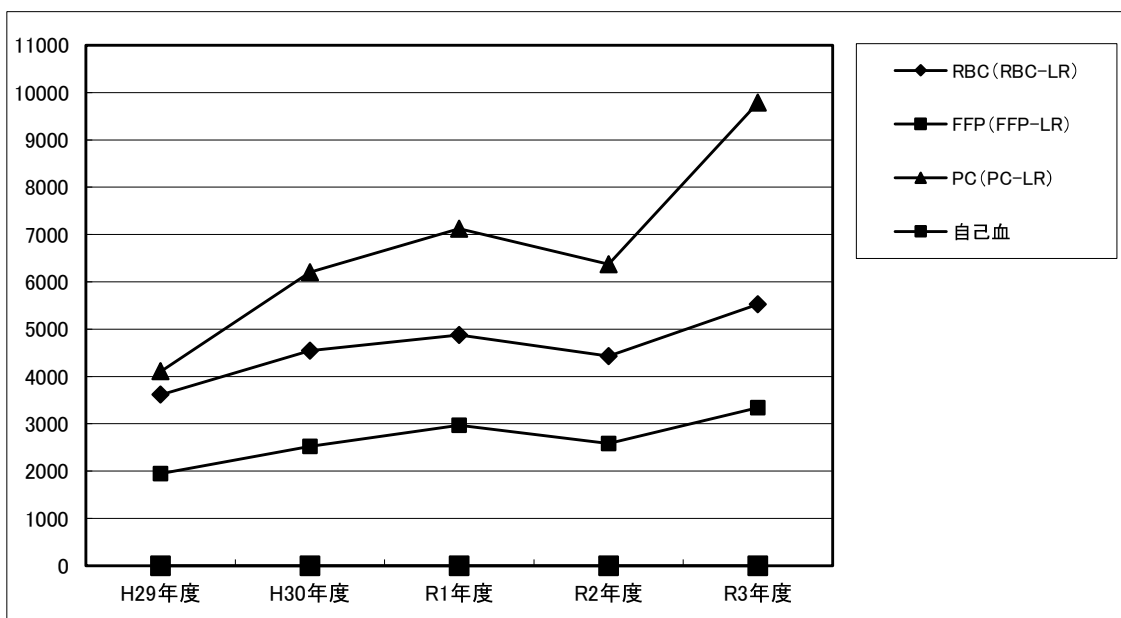


図6 血液製剤使用数の年度推移

## 7) 病理検査

表10に過去5年間の病理検査の依頼件数の推移を示す。令和3年度の総件数は2,967件であり、総件数は前年度比で94.4%であった。検査種別にみると、組織診依頼数は前年度比98.2%、細胞診依頼数は前年度

比93.1%、病理癌遺伝子関連検査は前年度比94.4%であり、これらはほぼ横ばいしやや減少であった。

組織診検査では呼吸器系を主に、循環器系から血管や心臓弁の依頼がある。呼吸器外科手術においては23.7%に術中迅速病理診断が行われており、術中の術式決定に大きく貢献している。免疫組織化学染色の実施された件数は177件であり、より客観的な病理診断に役立っていると思われる。細胞診は胸水などを含む呼吸器疾患からの検体が主体で、全ての検体に対して遠心・塗抹・固定などの検体処理を行っている。また、細胞診検体からの遺伝子検査依頼に備えるため、残余検体がある場合は極力セルブロックの作製および保存に努めている。病理がん遺伝子関連検査では肺癌マルチ遺伝子PCR法が令和4年1月17日より外注検査で受託開始となった。マルチPCR法は次世代シーケンサー法に比して報告日数の短縮や検査不能率が低いことから、今後はこちらにシフトしていくものと考えられる。病理解剖は3例の実施があった。これら通常検査および解剖のほか、他施設から呼吸器系疾患を中心としたコンサルテーション症例および呼吸器リファレンスラボ症例の受け入れ、研究のための標本作製やPCR検査等の補助業務も行っている。このほか感染症の遺伝子検査として、SARS-nCoV-2のPCR検査を実施している。主に新型コロナウイルス感染が疑われる患者、入院および転院患者、職員とその患者を対象に検査が実施され、3,609件の検査を実施した。前年度比は252.9%であり、第5波、第6波の感染拡大の影響を受けて検査件数が大幅に増加した。

表10 病理検査の依頼件数の年度推移

区分 \ 年度		H28	H29	H30	R元	R2	R3	前年比 (%)
		(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)	
総件数		5,208	6,221	5,828	4,722	3,143	2,967	94.4
総標本枚数		34,077	38,543	37,717	30,266	21,803	21,368	98.0
病理 組織 検査	件数	987	1,191	1,371	1,119	835	820	98.2
	生検	528	588	659	502	375	360	96.0
	手術	287	396	492	514	452	457	101.1
	術中迅速診断	172	198	211	161	109	107	98.2
	合計標本枚数	12,829	16,311	17,575	13,524	10,202	10,857	106.4
	一般染色	5,650	6,485	7,101	5,681	3,904	4,106	105.2
	特殊染色	5,351	7,459	7,663	6,497	4,826	5,272	109.2
免疫染色	1,650	1,341	1,508	1,346	1,472	1,479	100.5	
細胞 診 検査	件数	3,366	3,737	3,060	2,492	1,688	1,571	93.1
	合計標本枚数	21,248	22,232	20,142	16,742	11,601	10,511	90.6
	一般染色	14,810	14,981	13,732	11,276	7,639	6,941	90.9
	特殊染色	6,315	7,050	6,378	5,416	3,946	3,496	88.6
	免疫染色	132	201	22	50	16	74	462.5
組織診免疫染色件数		283	209	224	207	175	177	101.1
がん遺伝子検査件数		465	728	749	652	232	219	94.4
PD-L1検査件数		—	291	315	199	145	130	89.7
その他業務件数		107	70	109	51	67	47	70.1
解剖件数		5	2	4	2	1	3	300.0
SARS-nCoV-2検査件数					49	1,427	3,609	252.9

## 8) 細菌検査

令和3年度、依頼総件数は26,482件、稼働点数は6,691,259点であった。(前年度比+6.1%) 内訳は、

一般細菌 19,561 件( +22.2%)、抗酸菌 6,921 件( -22.6%)であった。

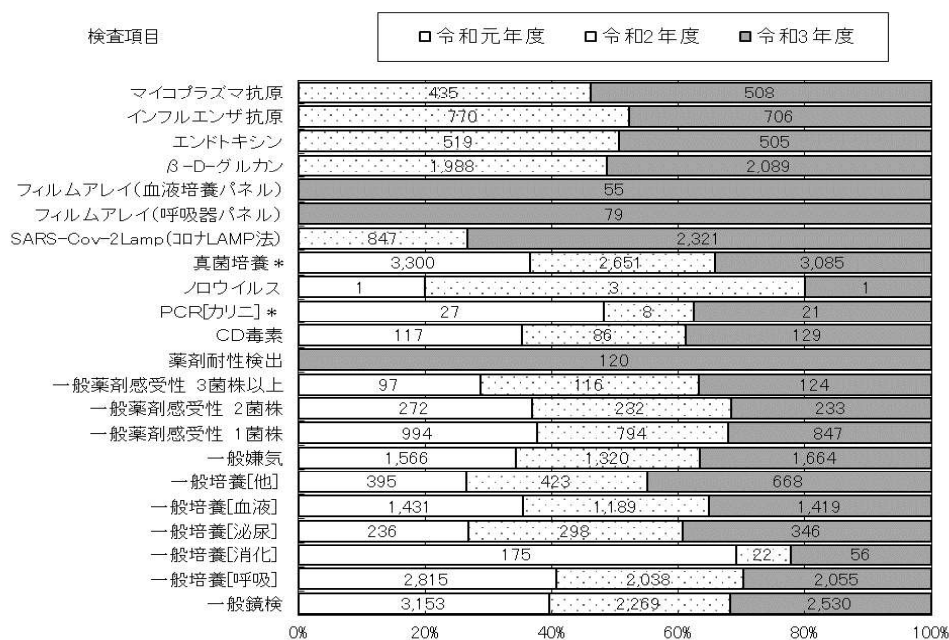
件数別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般細菌	1,671	1,551	1,567	1,798	1,609	1,339	1,697	1,947	1,646	1,620	1,515	1,601	19,561
抗酸菌	744	565	653	609	539	570	523	681	593	426	500	518	6,921
合計	2,415	2,116	2,220	2,407	2,148	1,909	2,220	2,628	2,239	2,046	2,015	2,119	26,482

稼働点数別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般細菌	402,876	361,884	397,919	463,667	430,257	379,991	525,023	549,427	449,618	356,013	342,169	354,209	5,013,053
抗酸菌	183,794	137,080	157,404	150,466	136,001	142,314	123,379	157,589	139,308	103,814	124,262	122,795	1,678,206
合計	586,670	498,964	555,323	614,133	566,258	522,305	648,402	707,016	588,926	459,827	466,431	477,004	6,691,259

【一般細菌検査】

一般細菌検査数の年度別推移



「主な前年度との比較」

- ① 呼吸器系培養検査は、0.8%の増加であった。
- ② 消化器系培養検査は、154.5%の増加であった。
- ③ 血液培養検査は、19.3%の増加であった。
- ④ 泌尿器系培養検査は、16.1%の増加であった。
- ⑤ 薬剤感受性検査は1菌株 6.7%、2菌株 \*0.4%の増加であった。
- ⑥ 薬剤感受性検査3菌株は、6.9%の増加であった。
- ⑦ SARS-COV-2Lamp【コロナLAMP法】は、174.0%の増加であった。
- ⑧ 高感度インフルエンザ抗原検査は8.3%の減少、高感度マイコプラズマ抗原検査は16.8%の増加であった。

⑨ β-D-グルカン検査は 5.1%の増加、エンドトキシン検査は 2.7%の減少であった。

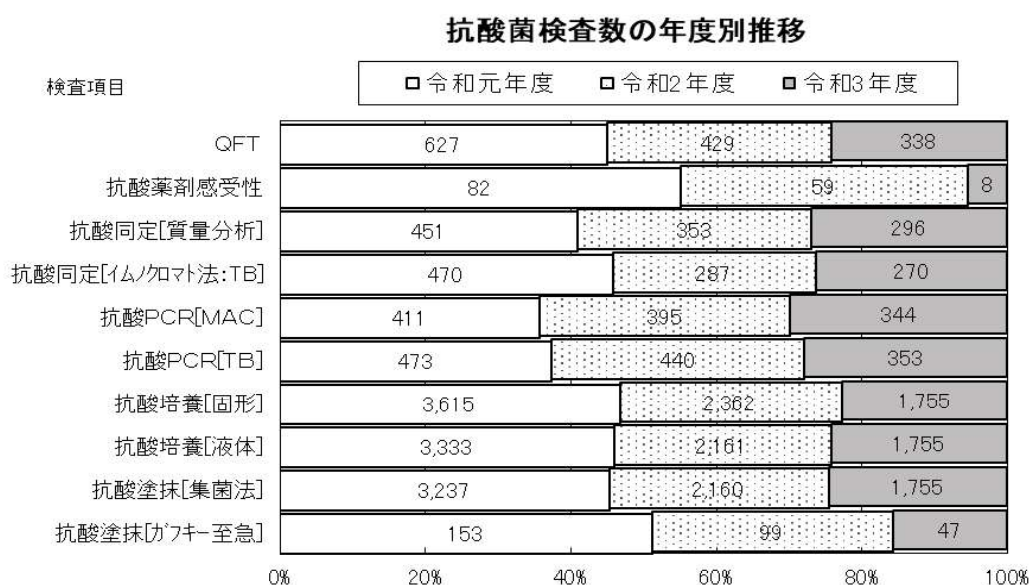
<考察>

一般細菌検査依頼総件数は前年度比 22.2%の増加であった。新型コロナウイルス対策の継続に重点を置きつつ、各科診療体制の再構築による影響が要因と考える。

一般培養においては呼吸器が前年と不変であったのに対し、消化器、泌尿器、血液、その他材料はすべて増加していた。腎・透析センターの開設による実績も着実に表れていると考える。

細菌検査室では新型コロナウイルス対策に伴う診療への対応として、SARS-COV-2 Lamp 検査を導入して2年目となった。また新たに、“マルチプレックス核酸検査法”を用いた遺伝子検査として『Film array』分析装置を導入、鼻腔咽頭スワブに含まれる複数の呼吸器ウイルス・細菌の核酸を同時に定性的に検出し同定する【呼吸器パネル】と血流感染の原因菌・薬剤耐性の有無を迅速に判定可能な【血液培養パネル】の運用を開始した。

【抗酸菌検査】



<主な前年度との比較>

- ① ガフキー至急検査は、52.5%の減少であった。
- ② 抗酸塗抹 [集菌法] 検査は、18.8%の減少であった。
- ③ 抗酸培養 [液体] 検査は、18.8%、同 [固形] 検査は、-25.7%の減少であった。
- ④ 抗酸 PCR [TB] 検査は、19.8%、同 [MAC] 検査は、12.9%の減少であった。
- ⑤ 抗酸同定 [質量分析] 検査は、16.1%の減少であった。
- ⑥ 抗酸薬剤感受性検査は、51.5%の減少であった。
- ⑦ QFT 検査は、21.2%の減少であった。

<考察>

抗酸菌検査依頼総件数は前年度比 22.6%の減少であった。依然として、新型コロナウイルス対策の継続に重点を置いた診療体制が要因と考える。

QFT 検査は患者検体のほか、年間 250 件程度の職員健診（新規採用、異動者、ハイリスク）を実施している。試薬・機器保守も含めて今後の検査体制見直しをおこないたい。

抗酸同定 [質量分析] 検査は外部委託で対応しており、1 患者 3 回連続検査に対し複数菌株検出された場

合は、全菌株に対して詳細同定をおこなっている。質量分析装置 TOF-MS 法により同定可能な菌種名が著増したことで、抗酸菌症における診療・疫学等への貢献が期待できる。今後は院内検査導入に向けた体制づくりも考えていきたい。

今後、新型コロナウイルスに対する診療体制が変化していくなかで適時対応できるよう抗酸菌を含めた細菌検査体制を整えていきたい。

# 令和3年度 年度別検査件数

(単位：件) (単位：件)

区分	令和3年度	対前年比%	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	
生理	循環生理	32,790	104.1	31,503	35,661	34,682	33,273	32,587	30,803	30,576
	神経生理	515	103.4	498	444	341	362	365	397	418
	呼吸生理その他	5,432	108.6	5,001	6,888	7,317	7,491	7,387	8,065	6,805
	小計	38,737	104.7	37,002	42,988	42,340	41,126	40,339	39,265	38,659
一般	尿・定性、沈査	12,694	90.9	13,965	21,595	20,173	21,404	22,412	8,719	6,452
	尿定量・便検査 (29年度より便検査)	514	103.4	497	1,113	1,171	1,120	857	1,092	644
	髄液・穿刺液検査	257	108.9	236	356	301	336	368	470	595
	感染症関連	1,158	61.9	1,872	2,409	2,379	2,479	2,466	2,818	2,964
	小計	14,623	88.2	16,570	25,473	24,024	25,339	26,103	13,099	10,655
生化学	自動分析機	983,282	95.8	1,026,510	1,170,629	1,170,813	1,130,840	1,081,539	1,076,350	1,047,213
	蛋白分画	0	0.0	174	287	338	462	474	486	473
	血液ガス	3,927	81.2	4,834	4,383	4,268	3,636	3,092	2,771	2,764
	血糖関連	48,122	99.7	48,279	54,980	52,696	56,465	51,575	50,956	50,464
	その他	82	72.6	113	132	95	115	123	112	183
	小計	1,035,413	95.9	1,079,910	1,230,411	1,228,210	1,191,518	1,136,803	1,130,675	1,101,097
血液	血算・像その他	113,480	97.6	116,260	130,193	130,102	125,830	122,363	123,761	124,213
	凝固検査	90,854	103.0	88,213	89,945	78,704	80,347	81,474	82,994	73,516
	小計	204,334	99.9	204,473	220,138	208,806	206,177	203,837	206,755	197,729
免疫	感染症	28,626	103.1	27,776	31,050	27,589	27,273	27,155	27,698	28,671
	腫瘍マーカー	14,625	92.4	15,831	23,094	24,301	25,547	24,624	24,450	23,519
	薬物血中濃度	418	108.9	384	229	306	295	351	383	394
	血清一般	24,186	94.2	25,668	28,882	27,617	27,316	26,129	24,442	22,493
	心筋マーカー	29,989	101.1	29,655	33,191	32,009	33,457	35,308	35,341	33,616
	小計	97,844	98.5	99,314	116,446	111,822	113,888	114,567	112,314	108,693
輸血	血液型検査	10,032	98.8	10,151	7,263	6,623	6,724	6,627	6,736	6,988
	不規則抗体スクリーニング	2,734	106.0	2,579	2,998	3,070	3,270	4,385	4,669	4,767
	クロスマッチ関連	11,765	114.6	10,268	9,715	8,928	6,938	8,951	10,417	8,774
	血液製剤照射	1,869	126.5	1,478	2,253	2,088	1,713	1,911	2,317	1,974
	血液製剤依頼	2,910	113.4	2,566	2,606	2,414	1,957	2,084	2,607	2,337
	小計	29,310	108.4	27,042	24,835	23,123	20,602	23,958	26,746	24,840
病理	病理組織	820	98.2	835	1,119	1371	1191	987	992	976
	細胞診	1,571	93.1	1,688	2,492	3,060	3,737	3,366	3,304	3,287
	その他	4,185	204.4	2,047	1,160	1397	1335	855	792	766
	小計	6,576	143.9	4,570	4,771	5,828	6,263	5,208	5,088	5,029
細菌	一般細菌	19,561	122.2	16,007	14,579	15,985	17,850	17,172	18,068	17,202
	抗酸菌	6,921	77.4	8,945	13,303	14,720	16,512	17,965	18,982	19,908
	小計	26,482	106.1	24,952	27,882	30,705	34,362	35,137	37,050	37,110
特殊検査(外注)	26,952	92.8	29,037	34,809	33,677	40,195	36,615	41,007	38,498	
総計	1,480,271	97.2	1,522,870	1,727,753	1,708,535	1,679,470	1,622,567	1,611,999	1,562,310	

## 6 薬剤部統計

1) 調剤薬処方箋取扱数 [表-1]

区 分		合計	1日平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総 計	処方箋枚数	56,510	154.8	4,747	4,247	4,286	4,894	4,348	4,082	4,510	4,889	5,240	5,182	4,980	5,105
	薬剤件数	135,799	372.1	11,823	9,789	10,444	11,921	9,942	9,275	10,731	11,885	12,923	12,686	11,611	12,769
	延剤数	1,252,944	3,432.7	109,039	86,630	92,547	110,212	89,351	91,019	103,017	103,480	120,769	119,581	110,521	116,778
入院	処方箋枚数	55,060	150.8	4,626	4,136	4,171	4,773	4,222	3,941	4,384	4,784	5,110	5,056	4,874	4,983
	薬剤件数	131,165	359.4	11,422	9,463	10,010	11,503	9,520	8,802	10,375	11,564	12,549	12,232	11,305	12,420
	延剤数	1,104,264	3,025.4	95,705	76,691	79,043	97,169	76,976	74,002	90,684	93,321	111,890	101,415	101,771	105,597
外来	処方箋枚数	1,450	6.0	121	111	115	121	126	141	126	105	130	126	106	122
	薬剤件数	4,634	19.1	401	326	434	418	422	473	356	321	374	454	306	349
	延剤数	148,680	614.4	13,334	9,939	13,504	13,043	12,375	17,017	12,333	10,159	8,879	18,166	8,750	11,181

(入院365日、外来242日)

2) 予製剤数 [表-2]

区 分		合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
予製剤数合計		34,774	4,051	2,647	2,074	3,181	2,411	2,838	1,975	2,883	4,843	1,716	3,141	3,014
内訳	散剤 (剤数)	3,584	462	588	0	294	168	588	168	378	336	434	168	0
	錠剤 (剤数)	29,872	3,439	1,937	1,994	2,764	2,130	2,189	1,730	2,402	4,196	1,223	2,906	2,962
	水剤 (剤数)	258	40	20	20	20	18	20	0	20	20	20	40	20
	外用剤 (剤数)	1,258	110	102	80	123	113	61	77	103	311	59	67	52

3) 院外処方箋枚数 [表-3]

	年度計	月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
処方箋枚数	33,594	2,799.5	3,165	2,658	2,796	2,776	2,735	2,699	2,778	2,782	2,944	2,732	2,507	3,022
処方箋発行率	95.9%		96.3%	96.0%	96.0%	95.8%	95.6%	95.0%	95.7%	96.4%	95.8%	95.6%	95.9%	96.1%

4) 処方箋変更件数 [表-4]

変更項目	年度計	月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
処方日数調整 (変更)	233	19.4	15	12	12	14	25	16	23	23	21	17	26	29
用法の変更	68	5.7	5	4	7	6	8	3	5	3	7	4	11	5
用量の変更 (単位)	109	9.1	5	7	3	8	9	10	11	11	11	10	12	12
剤型の変更	17	1.4	0	0	1	0	3	0	1	2	1	3	3	3
薬の変更	47	3.9	3	5	2	3	4	6	3	6	4	4	3	4
薬品の追加	113	9.4	9	13	5	7	12	8	10	11	8	14	6	10
薬品の削除	144	12.0	9	9	7	13	15	9	14	18	14	8	15	13
処方の削除	7	0.6	0	1	0	1	1	0	2	1	1	0	0	0
院外へ変更	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
院内へ変更	4	0.3	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
コメント訂正	6	0.5	1	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	0
その他	188	15.7	6	7	7	7	20	16	15	30	26	25	21	8
合 計	936	78.0	55	58	45	59	99	69	84	107	94	85	97	84

5) 注射薬・薬品出し等取扱数 [表-5]

区 分		合計	1日平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総 計	注射薬枚数	79,446	217.7	6,883	6,414	6,063	6,754	6,392	6,261	6,362	6,888	6,839	6,755	6,992	6,843
	注射件数	260,156	712.8	23,027	20,958	19,229	23,154	18,247	21,412	20,945	23,482	23,363	21,985	21,881	22,473
	薬品件数	58,240	159.6	5,703	4,839	5,032	5,079	4,327	4,502	4,778	4,881	5,053	4,462	4,483	5,101
入院	注射薬枚数	74,391	203.8	6,425	6,008	5,595	6,312	6,006	5,862	5,920	6,442	6,442	6,331	6,617	6,431
	注射件数	249,387	683.3	22,058	20,085	18,189	22,292	17,373	20,532	20,032	22,587	22,565	21,119	20,990	21,565
	薬品件数	56,307	154.3	5,515	4,712	4,883	4,913	4,200	4,358	4,577	4,712	4,861	4,271	4,362	4,943
外来	注射薬枚数	5,055	20.9	458	406	468	442	386	399	442	446	397	424	375	412
	注射件数	10,769	44.5	969	873	1,040	862	874	880	913	895	798	866	891	908
	薬品件数	1,933	8.0	188	127	149	166	127	144	201	169	192	191	121	158

(入院365日、外来242日)

6) 医薬品情報の照会件数 [表-6]

1	医薬品の基本的情報 (名称、採用の有無等) について	15
2	医薬品の薬剤学的な情報 (配合変化、安定性など) について	24
3	医薬品の薬理学的な情報 (副作用、相互作用など) について	28
4	医療保険、一般用医薬品など上記以外の情報について	8
5	持参薬鑑別	6,028
合計		6,103



7) 薬剤管理指導業務 [表-7]

区 分	年度計	月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
入院患者数	6,604	550.3	595	502	546	576	497	473	524	567	580	607	566	571	
請求	患者数	4,014	334.5	336	257	335	346	261	277	349	395	410	360	331	357
	件数	4,840	403.3	419	307	413	408	319	341	439	466	480	428	387	433
指導件数	5,116	426.3	440	323	443	416	346	352	460	493	523	457	411	452	
退院時薬剤情報管理指導件数	2,639	219.9	252	201	242	218	189	186	237	209	238	227	213	227	
退院時薬剤情報連携加算	34	—	1	0	2	2	1	6	8	6	3	2	3	0	

8) 抗がん剤等混注取扱数 [表-8]

		合計	1日平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
患者数		1,736	7.2	141	122	141	136	146	136	125	139	147	172	157	174
混注件数		2,428	10.0	190	174	200	187	194	186	162	196	203	256	231	249
内訳	外来	患者数	970	91	74	87	68	88	86	77	79	74	76	80	90
		混注件数	1,249	115	96	107	81	116	112	98	102	96	92	111	123
	入院	患者数	766	50	48	54	68	58	50	48	60	73	96	77	84
		混注件数	1,179	75	78	93	106	78	74	64	94	107	164	120	126
混注件数(抗がん剤以外)		647		70	54	73	43	58	55	51	56	53	42	43	49
外来 化学 療法	指導件数	261			10	20	15	20	27	38	32	36	40	23	
	連携先実加算算定件数	193				13	12	17	19	28	22	19	31	32	
	トレーシングレポート枚数	149			5	17	17	12	17	14	16	17	14	20	

※ 抗がん剤以外：制吐剤等の輸液

9) 薬剤委員会実績 [表-9]

回	開催年月日	採用医薬品					院内削除医薬品					差 (A)-(B)
		内服	注射	外用	その他	計(A)	内服	注射	外用	その他	計(B)	
1	2021.05.26	4	1	1	0	6	3	1	0	0	4	2
2	2021.07.28	18	9	0	0	27	18	7	0	0	25	2
3	2021.09.22	6	1	1	0	8	11	1	0	0	12	-4
4	2021.11.24	8	6	0	0	14	3	10	0	0	13	1
5	2022.01.26	10	7	1	0	18	7	5	1	0	13	5
6	2022.03.23	5	2	0	0	7	2	3	0	0	5	2
合 計		51	26	3	0	80	44	27	1	0	72	8

10) 実施受託研究 [表-10]

区分	計	医薬品	医療機器	その他
① 治験	7	6	0	1
② 製造販売後臨床試験	0	0	0	
③ 製造販売後調査	16	14	2	
①、②、③以外の受託研究	22	0	22	0
計	45	20	24	1

11) 持参薬の鑑別 [表-11]

区 分	年度計	月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
入院	件数	3,553	296.1	292	267	299	296	217	238	324	309	324	362	293	332
	剤数	22,821	1,901.8	1,924	1,683	1,947	1,929	1,305	1,475	2,033	1,981	2,068	2,250	2,078	2,148
外来	件数	2,475	206.3	217	178	205	176	166	209	270	241	257	175	159	222
	剤数	16,431	1,369.3	1,368	1,212	1,286	1,194	1,104	1,362	1,755	1,599	1,767	1,274	1,006	1,504
合計	件数	6,028	502.3	509.0	445.0	504.0	472.0	383.0	447.0	594.0	550.0	581.0	537.0	452.0	554.0
	剤数	39,252	3,271.0	3,292.0	2,895.0	3,233.0	3,123.0	2,409.0	2,837.0	3,788.0	3,580.0	3,835.0	3,524.0	3,084.0	3,652.0

## 7 看護部統計

表1 看護部常勤職員年齢分布(令和3年4月1日)

年齢	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	合計
人数	153	107	118	30	408
構成比	37.5%	26.2%	28.9%	7.4%	100%

表2 病棟別褥瘡予防対策及び発生報告(N=63926:入院延べ患者数)

項目	部署	3E	3W	4E	4W	3C	4B	4C	ICU	CCU	RCU	計
予防対策		35	31	34	30	114	76	58	650	653	228	1,909
発生報告		8	18	2	6	15	16	4	10	4	5	88
院内発生		6	17	2	5	11	8	3	9	3	3	67
持ち込み		2	1	0	1	4	8	1	1	1	2	21
入院延べ患者数		8725	10293	9230	8536	8571	5229	6238	2418	2386	1606	63,232
発生報告(%)		0.09%	0.17%	0.02%	0.07%	0.18%	0.31%	0.06%	0.41%	0.17%	0.31%	0.14%
院内発生(%)		0.07%	0.17%	0.02%	0.06%	0.13%	0.15%	0.05%	0.37%	0.13%	0.19%	0.11%

表3 褥瘡有病率・推定発症率

年度	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3
褥瘡有病率(%)	1.04	1.41	2.10	2.44	0.81	1.65	2.12	1.65
推定発症率(%)	0.48	0.76	1.3	1.09	0.47	0.86	1.28	1.26

# 令和3年度 循環器・呼吸器病センター教育(研修)体系

循環器・呼吸器病センター 看護部

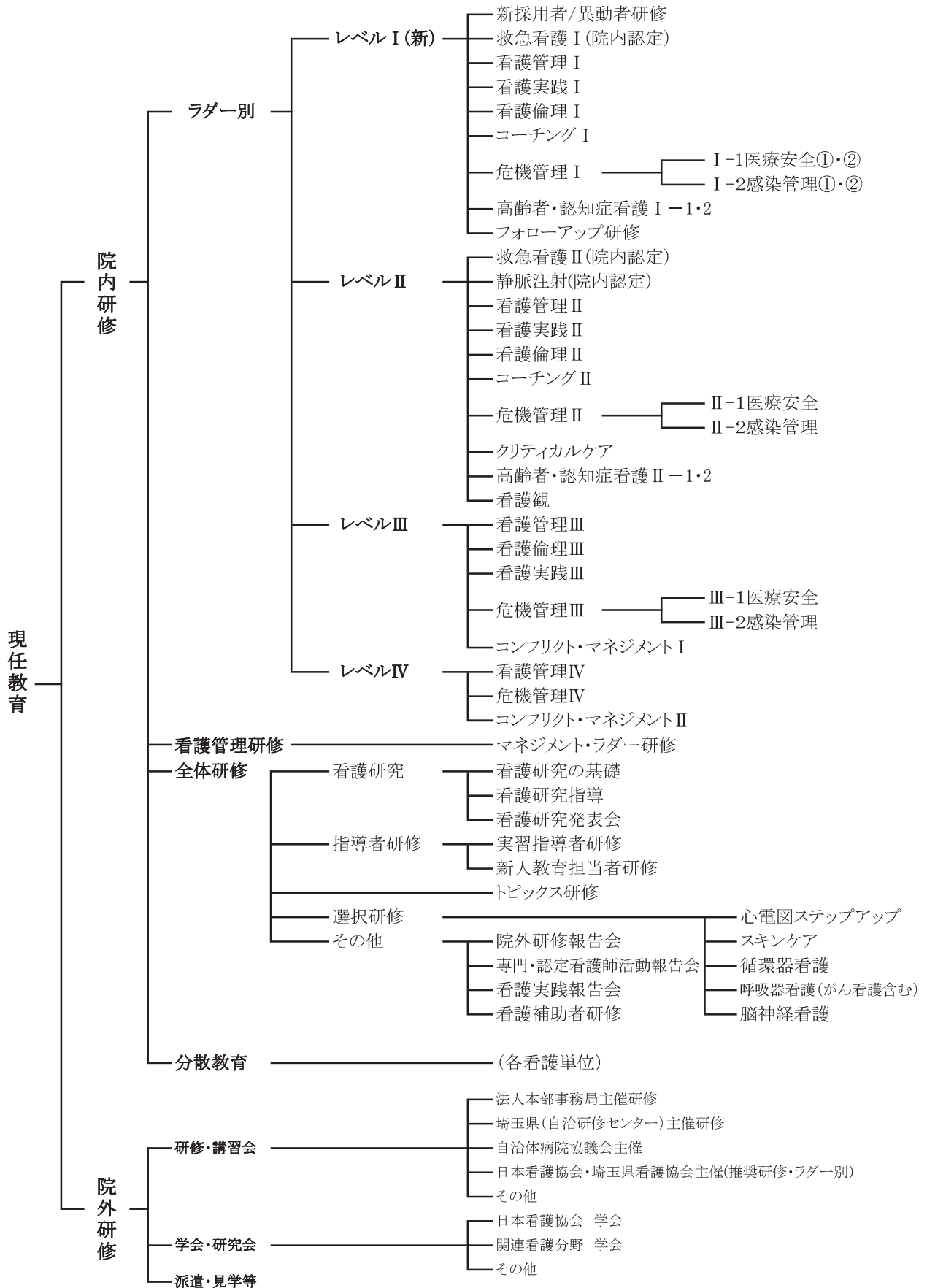


表4 令和3年度 院内教育実績

循環器・呼吸器病センター看護部

研修名	日時	対象者	受講者数	講師	目的・目標	
レベルⅠ	新採用者・異動者研修	4月5日6日9日	I前	41	教育委員会 他	・センター全体および看護部の組織と業務の概要を理解し、職員としての自覚を持つことができる。
	看護技術基礎研修	4月7日 口腔ケア	I前	39	師長 教育委員会 認定看護師 他	・基本的な基礎看護技術・センターの特徴的な疾患看護の基礎知識が習得できる ・患者の状態を把握するためのフィジカルアセスメントが理解できる
		4月7日 活動援助技術		41		
		4月7日 採血・血糖測定		41		
		4月9日 ミキシング等		41		
		4月9日 輸液・シリンジポンプ		41		
		4月13日 看護記録・電子カルテ		44		
		4月14日 内服薬の確認方法		40		
		4月14日 採血		41		
		5月11日		39		
		5月12日		41		
		6月9日		39		
		7月7日		39		
	10月27日	36				
	12月8日	36				
	3月2日	33				
	看護管理Ⅰ	10月8日	I前	36	関根師長	・メンバーシップについて理解し、チームの一員としての役割を理解し責任をもって行動できる。
	看護倫理Ⅰ	5月11日	I前	39	牛島師長	・看護者の倫理綱領について理解できる。 ・インフォームド・コンセントについて理解できる ・インフォームド・コンセントの実際と看護の役割について理解できる。
	看護実践Ⅰ	6月9日	I前	42	記録委員会	・個別的な看護実践ができる
12月8日		34				
フォローアップ	4月14日	I前	40	教育委員会	・3ヶ月・6カ月・1年の課題などを明確にする ・看護技術の習得と精神的支援が受けられる	
	7月7日		39			
	10月27日		38			
	3月2日		36			
救急看護Ⅰ	6月9日 講義・演習	I前	43	教育担当主任	・救急時の対応の基本的な対応が理解できる ・急変時に必要な基本技術を身につける	
	7月7日 筆記試験		43			
	10月13日		42			
高齢者・認知症看護Ⅰ	10月8日	I前	40	牛島師長 東都大学 ヒューマンケア学部 五月女先生	・高齢者および認知症患者の特徴と看護について理解できる	
	10月27日		39			
安全管理Ⅰ	4月9日	I前	43	川上SM	・医療安全に関する基本的知識の理解ができる ・インシデントの発生状況を知り、その予防対策について理解できる	
	10月8日		39			
感染管理Ⅰ	4月6日	I前	44	大沢感染管理認定看護師	・感染管理に必要な基本的な知識(スタンダードプリコーション、感染経路別予防策、針刺し対応等)を習得し、実践できる ・スタンダードプリコーション、感染経路別予防策、針刺し対応ができる	
	10月8日		39			
コーチングⅠ	10月27日	I前	36	戸森師長	・患者・家族・職員との対話の必要性を理解し、意図的な対話・傾聴ができる。	
ラダーⅠ合計			1344			

研修名	日時	対象者	受講者数	講師	目的・目標	
レベルⅡ	看護管理Ⅱ	12月1日	I	27	関根師長	・様々な看護方式の特徴を理解する ・チームナースにおけるリーダーの役割を理解し、チームリーダーとしての行動がとれる
	看護倫理Ⅱ	11月10日	I	20	古川師長	・看護倫理について理解し、臨床場面で起こる倫理的問題に気づくことができる。 ・インフォームド・コンセントについて理解し行動できる。
	看護実践Ⅱ	11月30日	I	23	関口師長	・患者の家族を含め、多職種と連携し、必要な看護が実践できる
	救急看護Ⅱ	7月14日 講義・演習	I	37	教育担当主任	・急変時に必要な基本技術が実施できる ・緊急時の看護師の対応が理解でき実践できる
		7月28日 筆記試験		36		
		11月17日		35		
	静脈注射	6月16日 講義・演習	I	31	教育担当主任 教育委員会	・静脈注射を安全・正確に実施するために必要な知識、技術の習得ができる。
		6月30日 筆記試験		31		
		9月29日 実技試験		31		
	コーチングⅡ	9月28日	I	30	島村師長	・患者・家族・職員との対話の中で承認の重要性を理解し、戦略的質問を行うことができる ・戦略的質問を通して相互理解を深め、自己の課題を明確にできる
	看護観	6月23日	I	24	古川師長	・先輩看護師の看護観を学び、自己の看護実践を看護理論に基づき客観的に振り返ることができる。 ・自己の看護観を確立し、それを文章化して表現できる。
	高齢者・認知症看護Ⅱ	7月2日	I	31	東都医療大学 ヒューマンケア学部 看護学科 教授 佐藤光栄	・高齢者の看護に必要な知識・技術の習得ができる
	高齢者・認知症看護Ⅱ-2	中止		0		・高齢者および認知症患者の看護に必要な知識・技術の習得ができる
	クリティカルケア	10月6日	I	33	岩田集中ケア認定看護師	・クリティカルケア領域で必要な知識・技術・アセスメント能力を高め、全人的な看護を実践することができる
	医療安全Ⅱ	1月12日	I	16	川上SM	・危険予知について理解し実践場面へつなげることができる
感染管理Ⅱ	3月16日	I	30	大沢感染管理認定看護師	・感染管理に関する知識・技術を習得し、実践することができる	
ラダーⅡ合計			435			

表4 令和3年度 院内教育実績

循環器・呼吸器病センター看護部

	研修名	日時	対象者	受講者数	講師	目的・目標
レベルⅢ	看護管理Ⅲ	10月26日	Ⅱ	15	下永吉副部長	・病棟全体の動きを把握し、効果的に活動しリーダーシップが発揮できる。
	看護倫理Ⅲ	9月15日	Ⅱ	13	古川師長	・臨床場面からインフォームド・コンセントと看護倫理について考えることができる。
	看護実践Ⅲ	10月20日	Ⅱ	19	下田師長	・看護過程を展開し、看護実践事例を通し、成功体験を語るすることができる。
	コンフリクトマネジメントⅠ	11月24日	Ⅱ	15	高橋看護部長	・コンフリクトマネジメントの概念を理解し、看護実践・職員とのかかわりの中で活用できる。
	安全管理Ⅲ	7月21日	Ⅱ	17	川上SM	・病棟運営上の危機的状況を理解でき、リーダーシップが発揮できる。
	感染管理Ⅲ	12月15日	Ⅱ	17	大沢感染管理認定看護師	・感染症発生事例の対応・感染アクシデント発生時の対応を理解し、低策を実践することができる。
ラダーⅢ合計				96		

	研修名	日時	対象者	受講者数	講師	目的・目標
レベルⅣ	看護管理Ⅳ	9月22日	Ⅲ	4	高橋看護部長	・組織の目的、仕組み、管理者の役割と機能について理解し、師長の代行および補佐としての役割を果たすことができる
	危機管理Ⅳ	6月2日	Ⅲ	3	川上SM	・感染症発生時対応・アクシデント発生時対応を理解し、リーダーシップが発揮できる
	コンフリクト・マネジメントⅡ	3月17日	Ⅲ	5	日本医療病院機能評価機構 遠田光子	・コンフリクト・マネジメントの概念を理解し、様々な実践場面で活用することができる
ラダーⅣ合計				12		

ラダーⅠ～Ⅳ総計			延受講者数	
			1887	

	研修名	日時	対象者	延受講者数	講師	目的・目標
選択研修	心電図ステップアップ	7月2日 7月16日 9月3日	全職員	142	笠井美穂 宮尾真奈美	・心電図の基礎疾患を習得し、心電図から得られる情報を看護実践に活かすことができる。
	スキンケア	7月6日 9月10日 10月8日 11月12日	全職員	101	川上幸子 下田純子 藤井基広	・スキンケア領域の看護実践に必要な基礎から応用の知識を学び、日常の看護に活かすことができる
	循環器看護	10月15日 11月5日 12月3日 12月17日	全職員	96	笠井美穂 宮尾真奈美 石毛圭輝・大久保敦子 藤井基広	・循環器疾患患者のたどる経過を学び、病態を理解し実践に活かせる看護の質の向上を目指す
	呼吸器看護	9月7日 10月5日 11月2日 12月2日	全職員	89	下田純子 岩田由美子 野口雅子	・呼吸器疾患患者に関する病院全体の関心を高め、看護の知識・技術を身につけ、看護の質の向上を目指す。
	脳卒中の治療と看護	11月22日 12月15日 1月12日	全職員	75	吉川雄一郎医師 大谷聡子 野口雅子	・脳卒中の急性期の病態を理解し、脳卒中患者に関する専門的知識、技術、態度を習得し、専門性の高い看護を実践する能力を育成する。
	選択研修合計				503	

	研修名	日時	対象者	受講者数	講師 担当	目 標 および 内 容
その他	マネジメントラダー	5月16日 11月4日 12月9日 12月14日	看護師長・副師長・病棟主任他	25	棚倉副部長 古川師長	・看護管理実践のスキルアップを図るための専門的な知識・技術を修得することができる。 ・看護管理におけるキャリアアップのための自己啓発に結び付けることができる。
	看護研究の基礎	7月27日 9月27日 11月22日 12月22日	全職員	13	下永吉副部長 看護研究委員会	・看護研究計画書が作成できる ※看護研究に協同研究者として参加し研究のプロセスが理解できる。 ※(e-ラーニング看護研究コースの視聴 第1回～9回は視聴し看護研究を実践する)
	トピックス研修	10月9日、2月19日	全職員	19	埼玉県立大学鈴木康美教授	・リフレクションを学ぶことで、相互の成長に結びつけることができる。
	看護研究発表会	3月1日	全職員	58	看護研究委員会	・研究成果を共有し、さらなる研究へ結びつけることができる
	院外研修報告会	中止	全職員		教育担当看護副部長	・院外研修での学びを共有できる
	看護実践報告会	1月(ポスター掲示)	全職員		看護業務改善委員会	・看護の質向上のための各看護単位での看護実践の取り組みを知り、その成果を共有できる
	新人教育体制研修	3月10日、3月15日	全職員	60	教育委員会	・チームで新人看護師を教育・支援する「チーム支援型教育体制」について理解できる

表5 令和3年度 専門看護師・認定看護師活動報告書1

活動実績令和4年3月末日現在

看護分野別活動内容				
認定分野 氏名 認定年度	緩和ケア (2名) 古川佳子 (H23) 大久保敦子 (H25)	皮膚・排泄ケア (1名) 川上幸子 (H19)	糖尿病看護 (2名) 石毛圭輝 (H20) 藤井基広 (H28)	がん化学療法看護 (1名) 下田純子 (H20)
活動概要	(1)実践 ①所属病棟での看護実践 ②がん看護相談外来 ・がん看護相談、がん患者指導管理料1・2算定の面談 (2)相談 ①院内ラウンド ②認定看護師活動依頼書や電話で相談依頼を受け、対応する。 (3)指導 ①デスカースカンファレンス参加やケースカンファレンス参加 ②スタッフへの緩和ケアに関する技術指導 ③院内外研修講師	(1)実践 ①褥瘡対策チームとして褥瘡予防発生した患者のケアに関わる。 院内褥瘡発生率：0.06% 褥瘡有病率平均：2.17% 褥瘡推定発症率：1.32% (2)相談 ①創傷を持つ患者のケア相談 ②創傷を持つ患者の退院に向けてのセルフケア指導相談 (3)指導 ①創傷に対する相談依頼による提案。	(1)実践 ①所属病棟での看護実践 ②血糖管理に関する医師との調整 ③フットケア外来(第2/第4火・金曜日) (2)相談 ①院内ラウンド ②病棟看護師からのコンサルテーション ③医師からのコンサルテーション (3)指導 ①院内・院外の研修講師	(1)実践 ①外来化学療法室や外来・病棟での看護実践 ② 外来化学療法をはじめ化学療法看護における環境整備、各部署との調整 ③各委員会との連携 ④がん患者指導管理料1・2算定面談 ⑤看護外来担当(不定期) (2)相談 ①院内ラウンド ②相談や依頼を受けて病棟へ訪問 (3)指導 ①院内・看護学校等の研修講師
実践件数	実践件数 12	実践件数 93	実践件数 93	実践件数 22
相談	(相談内容) 症状マネジメント：1件 がん患者相談：7件 精神的ケア：0件 家族ケア：0件 意思決定支援：0件 その他：4件	(相談内容) 12	(相談内容) 42	(相談内容) 13
指導	指導件数 4	指導件数 1	指導件数 5	指導件数 11
その他	(1)委員会活動 (大久保・古川) ①緩和ケア委員会 (活動休止) ②専門看護師・認定看護師会議 ・専門・認定看護師通信の発行 ・活動報告会開催 (2)院外活動 ①ホスピスケア研究会理事 (古川) (3)学会・研修参加 ①日本緩和医療学会学術集会 (大久保) ①日本死の臨床研究会年次大会 (大久保) ②日本ホスピスケア研究会参加(大久保) ③第36回日本がん看護学会学術集会 (古川)	(1)委員会活動 ①介護教室：褥瘡予防1回/年	(1)委員会活動 ①NST会議(藤井) ②専門看護師・認定看護師会議(石毛、藤井) ・専門・認定看護師通信の発行 ・活動報告会開催 ③フットメディカルカンファレンス(石毛、藤井) (2)学会・研修参加 ①日本糖尿病教育・看護学会学術集会(石毛)	(1)委員会活動 ①化学療法委員会 ②専門看護師・認定看護師会議 ・専門・認定看護師通信の発行 ・活動報告会開催 (2)薬剤部との定期的な情報交換 (3)学会・研修会参加 ①日本師範学会

表5 令和3年度 専門看護師・認定看護師活動報告書2

看護分野別活動内容				
認定分野 氏名 認定年度	摂食・嚥下障害看護 (1名) 野口雅子 (H30)	慢性心不全看護 (2名) 笠井美穂 (H24) 宮尾真奈美 (H28)	感染管理 (2名) 木村めぐみ (H25) 大沢朗子 (H27)	手術看護 (2名) 赤沼友希 (H29) 福田まい子 (H25)
活動概要	(1)実践 ①所属病棟における看護実践 ②摂食嚥下機能評価 ③ (2)相談 ①院内ラウンド ②相談や依頼を受け、嚥下評価をし嚥下訓練や代償法の提案や食形態の調整、リスク管理についての支援。 ③口腔ケア (3)指導 ①スタッフへの摂食・嚥下技術指導 ②口腔ケア推進会議リンクナースへの指導 ③院内・院外研修講師	(1)実践 ①所属病棟での看護実践 ②心不全再入院患者の増悪予防の支援 ③終末期心不全患者の精神的支援 ④初回心不全患者の自己管理能力アセスメント (2)相談 ①院内ラウンド ②患者支援などの相談を受け、問題解決の提案・実践を行う (3)指導 ①院内研修講師 ②看護学校講師 ③院外研修講師	(1)実践 ①感染症発生時の感染防止対策(標準予防策の徹底、感染経路別に準じた対応、環境清掃等) ②サーベイランス ③ICTラウンド ④職業感染防止(針刺し・切創による血液・体液曝露対応、結核曝露対応、COVID-19等) ⑤抗菌薬適正使用支援の実施 ⑥感染管理に関する物品の検討 ⑦新型コロナウイルス感染症対応 (2)相談 ①院内全ての職員または他院からの相談を受け、医療関連感染低減を目的とした介入。 ②職員がCOVID-19等に感染した際の対応 ③抗菌薬に関する相談対応 (3)指導 ①院内・院外研修講師 ②感染症、感染予防に関する職員への指導 ③COVID-19クラスターが発生している病棟、施設への指導	(1)実践 ①所属病棟での活動 ②安全安楽な周術期環境の提供 (2)相談 ①周術期患者・家族について看護師・医師からの相談に対して状況に即して対応する (3)指導 ①手術室看護師の実践能力向上支援
実践件数	実践件数 66	実践件数 33	実践件数 2327	実践件数
	(実践内容) (1)実践:66件 ①所属病棟での看護実践 ②病室中患者の嚥下機能評価 ③転院や、退院時の継続的な看護支援評価	(実践内容) (1)自己管理のアセスメント24件 (2)精神的支援:2件 (3)退院後の運動・活動について:0件 (4)再入院患者の増悪予防支援:3件 (5)心不全増悪のアセスメント:3件 (6)合同カンファレンス:0件 (7)その他:1件	(実践内容) サーベイランス:76件 院内ラウンド:70件 感染防止対策(標準予防策・接触・飛沫・空気):865件 職業感染防止(結核、インフルエンザ、感染性胃腸炎、流行性角結膜炎、帯状疱疹、針刺し・粘膜曝露、COVID-19):260件 洗浄・消毒・滅菌:167件 ファンリイ・マネジメント:136件 抗菌薬の適正使用支援:49件 その他(検査、看護手順、病原体に関すること等):704件	(実践内容)
相談	相談件数 112	相談件数 1	相談件数 1994	相談件数
	新規:48件 継続64件 (相談内容) 食形態、水分とろみ濃度調整について 間接訓練について 栄養補助食品について 嚥下代償法について 食事介助方法について 食事の環境調整について 食具の調整について 食事姿勢について 家族へ食事介助方法について 代替栄養について 口腔ケア方法について 内服方法について	(相談内容) 新規1件 継続0件 (相談内容) 療養支援1件	(相談件数) 新規:1991件 継続:3件 (相談内容) 感染防止対策(標準予防策・接触・飛沫・空気):830件 職業感染防止(結核、インフルエンザ、感染性胃腸炎、流行性角結膜炎、帯状疱疹、針刺し・粘膜曝露、COVID-19):196件 洗浄・消毒・滅菌:169件 ファンリイ・マネジメント:160件 抗菌薬に関する相談:14件 その他(検査、看護手順、病原体に関すること等):625件	
指導	指導件数 5	指導件数 20	指導件数 47	指導件数
	(1)研修講師 (院内) ①新採用者研修:「摂食嚥下について」「口腔ケアについて」 ②3西病棟勉強会「摂食嚥下について」 (院外) ①埼玉県看護協会認定看護師派遣事業講師 摂食嚥下障害のある高齢者の関わり方:介護老人保健施設(全1回)	(1)研修講師 (院内) ①新採用研修「循環器疾患と看護」(笠井)「フィジカルアセスメント」(宮尾) ②選択研修「実践に活かせる心電図看護を学ぼう」計3回(笠井・宮尾) ③選択研修「実践に活かせる循環器看護を学ぼう」計4回(笠井・宮尾) (院外) ①埼玉県熊谷医師会看護専門学校講師計4回(宮尾) ②埼玉県立高等看護学院講師計2回(宮尾) ③埼玉県看護協会「虚血性心疾患と看護」(笠井) ④上尾市医師会上尾看護専門学校講師計4回(宮尾・笠井) ⑤在宅心不全患者さんを考える会講演(笠井)	(1)研修講師 (院内) ①看護部ラダー研修:2件 ②院内感染対策研修会:2件 ③新採用職員、異動職員研修:8件 ④学生への研修(看護、薬剤師):3件 (院外) ①研修講師:9件 ・近隣病院:2件・高齢者施設:1件 ・県立高校:1件・看護大学:2件 ・熊谷医師会:2件 ・熊谷市市民フォーラム:1件 ②ケアラー支援のための介護職員研修:2件 ③クラスター発生病棟・施設への指導:4件 ④COVID-19対応指導:6件 ⑤埼玉県新型コロナウイルス症例検討会:2件 (2)感染症に対する標準予防策、感染経路別予防策等の指導	
その他	(1)委員会活動 ①RSTラウンド ②口腔ケア推進会議 ・専門看護師・認定看護師会議 ・活動報告会開催 ③摂食嚥下支援チーム立ち上げ活動開始 (2)学会・研修会参加 ①日本脳卒中学会オンデマンド参加 ②摂食嚥下リハビリテーション学会オンデマンド参加	(1)委員会活動 ①専門看護師・認定看護師会議 ・専門看護師・認定看護師通信の発行 ・活動報告会開催 ②心不全ケア委員会(笠井・宮尾) (2)学会・研修会参加 ①日本心不全学会オンデマンド参加(宮尾・笠井)	(1)委員会等活動 ①ICC ②ICT ③感染制御リンクナース会議 ④専門看護師・認定看護師会議 ⑤DOTSカンファレンス ⑥臨時感染症対策委員会(COVID-19) ⑦COVID-19 Tel-ICU ⑧新型コロナウイルスワクチンプロジェクト ⑨地域連携感染カンファレンス ⑩地域連携他施設相互評価 ⑪RST (2)院外での活動 ①熊谷保健所管内感染症担当者会議 ②埼玉県感染管理認定看護師ネットワーク ③埼玉県新型コロナウイルス症例検討会	

表5 令和3年度 専門看護師・認定看護師活動報告書3

看護部分野別活動内容				
認定分野 氏名 認定年度	集中ケア (1名) 岩田由美子 (H29)		透析看護 (1名) 林 恵子 (R2)	
活動概要	(1)実践 ①生命の危機状態にある患者および家族に対する看護実践 ②所属病棟での活動 ③RSTラウンド ④SOFASコアシートに基づき記録 ⑤早期離床リハビリテーション加算導入・取得 (2)相談 ①集中ケア領域の生命の危機状態にある患者および家族に対する看護実践に関する相談をうけ提案・実践を行う ②集中ケア領域のスタッフ教育に関する相談をうけ勉強会・シミュレーションを実践を行う ③集中ケア領域病棟ラウンド ④一般病棟からのNPPVについての相談をうけ、提案・実践を行う (3)指導 ①院内研修講師 ②看護学校講師		(1)実践 ①所属病棟での看護実践 ②腎不全患者のセルフケア支援 ③腎不全患者の意思決定支援の援助(腎代替療法選択や、透析継続に関して) (2)相談 ①院内ラウンド ②患者の支援方法の相談を受け、問題解決の提案・支援を行う。 (3)指導 ①院内研修講師 ②腎不全・透析患者個々に対して指導方法を病棟スタッフを情報交換し指導を行う。	
実践件数	実践件数	201	実践件数	5
	(実践内容)	(1) 呼吸ケアサポートチームラウンド:295件 (2) 呼吸ケア:0件 (3) 人工呼吸器について:0件 (4) 早期離床について:0件 (5) 急性期の栄養管理について (6) 鎮静・鎮痛コントロールについて (7) ポジショニング・体位変換・ドレナージ (8) 口腔内の保湿・保清について (9) 勉強会について:5件	(実践内容)	(1) 腎不全:2件 (2) 血液透析:1件 (3) 腹膜透析:2件 (4) その他:0件
相談	相談件数	16	相談件数	3
	(相談件数) 新規:5件 継続:0件 (相談内容) ・脳疾患患者のドレナージ管理と看護ケア	(相談件数) 新規:3件 継続:0件 (相談内容) ・腎不全予防の指導方法について ・腎不全患者のセルフケア方法について ・腹膜透析患者の感染防御方法について		
指導	指導件数	33	指導件数	3
	(1) 研修講師 (院内) 分散教育(手術室合同)「周術期看護」 ③CCU勉強会 「脳疾患患者のドレナージ管理と看護ケア」 「意識レベルの味方」 ④ICU勉強会 「シミュレーションとは」 「アサーションとは」 「接遇」シミュレーション (院外) 埼玉県立高等看護学院講師(計3回)	(1) 研修講師 (院内) 分散教育 ①分散教育「シャント管理について」 ④E勉強会「シャント管理について」 CCU勉強会「血液透析を受ける患者の看護」 (院外) なし		
その他	(1)委員会活動 ①RST ②専門看護師・認定看護師会議 ・専門看護師・認定看護師通信の発行 ・活動報告会開催 (2)学会・研修会参加 ①集中治療学会オンデマンド参加 ②クリティカルケア看護学会オンデマンド参加	(1)委員会活動 ①フットメディカルカンファレンス (2)学会・研修会参加 ①腎不全看護学会学術集会WEB参加 ②日本腹膜透析学会学術集会WEB参加 ③日本サイコネフロジー学術集会WEB参加		



**表6 令和3年度 研修主催者別院外研修派遣実績**

	主催者名	コース数	参加人数 (人)
1	県立病院機構主催	11	142
2	日本看護協会・全国看護セミナー等	13	23
3	埼玉県看護協会	49	103
4	学会・研究会等	8	36
5	長期派遣研修 (再掲含む)	3	6
6	その他 (地域、管理研修、医療安全 感染管理 他)	2	12
	合計	86	322

※ 長期派遣研修とは、1カ月以上に及ぶ研修派遣期間を再掲している。

**表7 令和3年度 臨地実習・研修、病院見学受け入れ実績**

	実習・研修等受け入れ内容	実人数 (人)	延人数 (人)
1	県立高等看護学院 臨地実習	132	568
2	東都医療大学 臨地実習	4	28
3	上武大学 臨地実習	29	87
4	病院見学会	89	89
6	インターンシップ	23	23
	合計	277	795

表8 令和3年度 講師等派遣実績

所属	職名	氏名	従事団体名	場所	内容	従事日(始期)	従事日(終期)
3東	主査	笠井 美穂	在宅心不全を考える会	zoom	講演	2021/5/31	
4東	主任	藤井 基広	埼玉県立高等看護学院	熊谷市	講師	2021/6/2	2021/6/18
3東	主任	大久保 敦子	熊谷市医師会看護専門学校	熊谷市	講師	2021/6/7	2021/6/17
ICU	主任	岩田 由美子	埼玉県立高等看護学院	熊谷市	講師	2021/6/7	2021/6/14
3西	主任	吉田 仁美	聖路加国際大学	東京都	講師	2021/6/11	
CCU	主任	宮尾 真奈美	埼玉県立高等看護学院	熊谷市	講師	2021/6/16	
看護部	副病院長兼看護部長	高橋 陽子	埼玉県立高等看護学院	熊谷市	講師	2021/9/3	2021/11/18
3C	師長	下田 純子	熊谷市医師会看護専門学校	熊谷市	講師	2021/9/7	2021/10/8
CCU	主任	宮尾 真奈美	熊谷市医師会看護専門学校	熊谷市	講師	2021/9/8	2021/10/5
3東	主査	笠井 美穂	埼玉県看護協会	西大宮	講師	2021/9/24	
看護部	副病院長兼看護部長	高橋 陽子	埼玉県看護協会	さいたま市	講師	2021/10/5	2021/10/21
3西	主任	野口 雅子	埼玉県看護協会	鴻巣市	講師	2021/10/6	
3西	主任	吉田 仁美	日本看護系大学協議会	zoom	スピーチ	2021/10/10	
3C	師長	下田 純子	秩父看護専門学校	秩父市	講師	2021/10/29	
外来	主任	木村 めぐみ	埼玉県老人福祉施設協議会	zoom	講師	2021/11/22	
3東	主任	大久保 敦子	埼玉県看護協会	上里町	講師	2021/12/22	
CCU	主任	宮尾 真奈美	上尾医師会上尾看護専門学校	上尾市	講師	2022/2/7	2022/2/14
3東	主査	笠井 美穂	上尾医師会上尾看護専門学校	上尾市	講師	2022/2/21	
4東	主任	藤井 基広	訪問看護ステーション協会	zoom	講師	2021/12/21	
3西	主任	吉田 仁美	日本慢性看護学会学術集会		委員	2022/2/1	2022/3/31
CCU	主任	林 恵子	日本臨床腎臓病看護研究会学術集会		委員	2022/2/1	2022/3/31
ICU	師長	牛島 恵里	埼玉県看護協会第1支部	寄居町等	委員	2021/4/13	2022/3/31
看護部	副部長	棚倉 玲子	埼玉県看護協会第1支部	寄居町等	委員	2021/4/13	2022/3/31
看護部	副部長	棚倉 玲子	埼玉県看護協会	さいたま市	委員	2021/6/29	2022/3/31

8 栄養部統計

令和3年度 年間食種別食数表

(単位：食)

食種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比(%)
常食	3,771	3,685	3,382	4,206	4,762	3,147	2,718	3,079	3,398	4,743	3,566	3,134	43,591	25.5
野菜	690	594	474	1,098	646	575	1,066	1,331	1,042	1,136	1,074	1,418	11,144	6.5
分菜	283	363	227	328	284	442	704	700	882	1,184	1,079	825	7,301	4.3
流動菜	2	11	43	12	8	9	0	46	38	29	9	9	216	0.1
濃厚流動食	1,092	1,204	932	1,130	876	1,110	1,357	1,266	1,564	1,358	1,336	1,487	14,712	8.6
嚥下食	706	457	268	543	374	512	703	857	1,202	989	1,269	1,229	9,109	5.3
一般術後食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
遅食	122	107	128	93	65	136	144	204	160	171	173	178	1,681	1.0
その他	64	65	36	81	181	97	275	249	493	227	161	138	2,067	1.2
小計	6,730	6,486	5,490	7,491	7,196	6,028	6,967	7,732	8,779	9,837	8,667	8,418	89,821	52.6
塩分コントロール食	1,004	889	711	865	1,141	563	762	859	889	671	460	804	9,618	5.6
エネルギーコントロール食	482	499	421	518	500	738	368	624	463	684	658	579	6,534	3.8
塩分エネルギー食	5,152	4,306	4,633	4,202	3,068	3,580	4,165	4,298	4,080	4,261	3,964	4,527	50,236	29.4
腎臓食	886	560	698	262	275	257	204	347	637	474	486	529	5,615	3.3
透析食	869	616	707	549	447	364	371	457	594	560	461	759	6,754	4.0
脂質コントロール食	50	0	19	7	7	20	0	58	17	16	32	37	263	0.2
潰瘍食	4	36	14	67	11	20	48	41	82	24	44	45	436	0.3
上部消化食	3	0	0	0	0	68	33	56	0	0	25	42	227	0.1
下部消化食	87	28	73	151	117	163	130	86	117	65	44	65	1,126	0.7
検査食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
小計	8,537	6,934	7,276	6,621	5,566	5,773	6,081	6,826	6,879	6,755	6,174	7,387	80,809	47.4
合計	15,267	13,420	12,766	14,112	12,762	11,801	13,048	14,558	15,658	16,592	14,841	15,805	170,630	100.0

(単位：人)

給食者延数	5,656	4,977	4,788	5,250	4,745	4,399	4,902	5,372	5,790	6,105	5,476	5,838	63,298	
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--

## 令和3年度 栄養指導実施状況

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	構成比
糖尿病	入院	5	5	3	3	4	4	5	3	8	2	6	10	58	106	6.8
	外来	4		6	5	1	4		2	5	7	5	9	48		
	入院非加算													0		
	外来非加算													0		
心臓	入院	16	22	27	28	23	26	34	25	31	27	20	30	309	495	31.5
	外来	10	7	13	13	14	16	16	16	23	16	22	17	183		
	入院非加算													0		
	外来非加算	1					1						1	3		
脂質異常症	入院	1									1			2	7	0.4
	外来	1								1	3			5		
	入院非加算													0		
	外来非加算													0		
高血圧	入院	5	3	2	5	1	2	4	1		4		4	31	61	3.9
	外来	4	4	3	2	4		2	2	2	4	3		30		
	入院非加算													0		
	外来非加算													0		
消化器疾患	入院	1							1					2	3	0.2
	外来													1		
	入院非加算													0		
	外来非加算													0		
腎臓病	入院	7	8	12	7	11	8	7	6	7	8	7	7	95	398	25.4
	外来	18	19	21	27	23	20	24	25	20	27	24	31	279		
	入院非加算				2	2	0							4		
	外来非加算	8	4	1		2	2			2		1		20		
肝臓病	入院													0	0	0.0
	外来													0		
	入院非加算													0		
	外来非加算													0		
肥満症	入院												1	2	5	0.3
	外来			1						1		1		3		
	入院非加算													0		
	外来非加算													0		
膵臓病	入院													0	0	0.0
	外来													0		
	入院非加算													0		
	外来非加算													0		
痛風	入院													0	1	0.1
	外来													0		
	入院非加算													0		
	外来非加算	1												1		
貧血	入院													0	0	0.0
	外来													0		
	入院非加算													0		
	外来非加算													0		
検査食	入院													0	0	0.0
	外来													0		
	入院非加算													0		
	外来非加算													0		
脳疾患	入院													0	0	0.0
	外来													0		
	入院非加算													0		
	外来非加算													0		
がん	入院		1		1	1	2		2	1		1	2	11	26	1.7
	外来		1	1		3	3	2	1	1		2	1	15		
	入院非加算													0		
	外来非加算													0		
摂食嚥下機能低下	入院						1							1	1	0.1
	外来													0		
	入院非加算													0		
	外来非加算													0		
低栄養	入院								1	1	2		4	8	15	1.0
	外来		1	1	1		1	1			2		1	7		
	入院非加算													0		
	外来非加算													0		
その他	入院					1								1	387	24.7
	外来					1								1		
	入院非加算													0		
	外来非加算													0		
個人指導小計	入院	35	39	44	44	41	43	50	39	48	45	34	58	520	1569	100.0
	外来	37	32	46	48	46	44	46	46	53	57	58	59	572		
	入院非加算	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4		
	外来非加算	41	20	26	23	41	34	63	50	61	48	34	32	473		
心不全	入院													0	0	0.0
	外来													0		
	入院非加算													0		
	外来非加算													0		
カテパス	入院													0	0	0.0
	外来													0		
	入院非加算													0		
	外来非加算													0		
COPD	入院													0	0	0.0
	外来													0		
	入院非加算													0		
	外来非加算													0		
集団小計	入院													0	0	0.0
	外来													0		
	入院非加算													0		
	外来非加算													0		
合計	入院	113	91	116	117	130	121	159	135	162	150	126	149	1569	1569	
	外来													0		
	入院非加算													0		
	外来非加算													0		

## 第2章 会計業務統計（事業会計）

（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

第1表 比較損益計算書

区 分	令 和 3 年 度		区 分	令 和 2 年 度	
	金 額	構成比率		金 額	構成比率
営業収益	16,433,097,653 円	99.5 %	病院事業収益	13,936,383,467 円	100.0 %
医業収益	9,266,363,623	56.1	医業収益	8,741,722,207	62.7
入院収益	7,424,073,500	45.0	入院収益	6,734,069,649	48.3
外来収益	1,719,240,120	10.4	外来収益	1,879,408,214	13.5
その他医業収益	123,050,003	0.7	その他医業収益	128,244,344	0.9
運営費負担金収益	3,245,242,000	19.7	医業外収益	5,121,475,627	36.8
運営費交付金収益	0	0.0	受取利息配当金	334,760	0.0
補助金等収益	3,797,795,000	23.0	補助金	1,671,947,000	12.0
寄付金収益	0	0.0	負担金交付金	3,026,325,000	21.7
資産見返負債戻入	123,697,030	0.7	長期前受金戻入	380,794,855	2.8
営業外収益	82,266,820	0.5	その他医業外収益	42,074,012	0.3
運営費負担金収益	48,132,000	0.3	特別利益	73,185,633	0.5
財務収益	84	0.0	過年度損益修正益	0	0.0
その他営業外収益	34,134,736	0.2	その他特別利益	73,185,633	0.5
臨時利益	0	0.0	収 益 合 計	13,936,383,467	100.0
過年度損益修正益	0	0.0	病院事業費用	13,983,324,605 円	100.0 %
その他臨時利益	0	0.0	医 業 費 用	13,220,925,127	94.5
収 益 合 計	16,515,364,473	100.0	給与費	6,189,356,056	44.2
営業費用	13,503,218,942 円	94.8 %	材料費	3,696,261,210	26.4
医 業 費 用	13,503,218,942	94.8	経費	2,050,054,167	14.7
給与費	6,357,834,232	44.6	減価償却費	1,199,334,923	8.6
材料費	3,745,176,203	26.3	資産減耗費	27,684,163	0.2
経費	2,061,020,543	14.5	研究研修費	58,234,608	0.4
減価償却費	1,291,463,012	9.1	医 業 外 費 用	762,399,478	5.5
研究研修費	47,724,952	0.3	支払利息及び企業債取扱諸費	96,399,950	0.7
営業外費用	744,798,154	5.2	長期前払消費税勘定償却	106,901,125	0.8
財務費用	80,303,127	0.6	雑損失	559,098,403	4.0
雑支出	69,727	0.0	特別損失	0	0.0
控除対象外消費税	664,425,300	4.6	予 備 費	0	0.0
臨時損失	0	0.0	費 用 合 計	13,983,324,605	100.0
費 用 合 計	14,248,017,096	100.0	当年度純損失	46,941,138	-
当年度純損失	-	-	当年度純利益	-	-
当年度純利益	2,267,347,377	-	前年度繰越利益剰余金	-1,801,528,614	-
前年度繰越利益剰余金	-1,848,469,752	-	当年度未処分利益剰余金	-1,848,469,752	-
当年度未処分利益剰余金	418,877,625	-			

第2表 比較貸借対照表

区 分	令和3年度	
	金額	構成比率
資産	円	%
固定資産	13,896,727,095	75.1
有形固定資産	13,209,958,892	71.4
無形固定資産	101,309,480	0.5
投資その他の資産	585,458,723	3.2
流動資産	4,612,669,377	24.9
現金及び預金	2,673,541,880	14.4
未収金	1,827,016,529	9.9
貸倒引当金	-5,056,331	0.0
たな卸資産	116,588,102	0.6
前払費用	579,197	0.0
資産合計	18,509,396,472	100.0
負債及び資本	円	%
負債	16,699,352,840	90.3
固定負債	13,539,900,844	73.2
流動負債	3,159,451,996	17.1
資本	1,810,043,632	9.7
資本金	-455,417,955	-2.5
当期純利益	2,265,461,587	12.2
負債・資本合計	18,509,396,472	100.0

区 分	令和2年度	
	金額	構成比率
資産	円	%
固定資産	16,282,738,405	66.9
有形固定資産	15,344,481,278	63.1
無形固定資産	269,738,762	1.1
投資その他の資産	668,518,365	2.7
流動資産	8,061,343,208	33.1
現金及び預金	6,299,518,583	25.9
未収金	1,773,931,136	7.3
貸倒引当金	-62,639,947	-0.3
たな卸資産	50,533,436	0.2
前払費用	0	0.0
資産合計	24,344,081,613	100.0
負債及び資本	円	%
負債	17,232,040,194	70.8
固定負債	12,600,955,686	51.8
流動負債	3,016,327,398	12.4
繰延収益	1,614,757,110	6.6
資本	7,112,041,419	29.2
資本金	8,414,000,440	34.6
剰余金	-1,301,959,021	-5.4
負債・資本合計	24,344,081,613	100.0

第3表 収益的収入及び支出（消費税込み）

科 目	現計予算額	決算額	差 引
	(A)	(B)	収入(B)-(A);支出(A)-(B)
	円	円	円
営業収益	13,884,294,000	16,444,214,642	2,559,920,642
医業収益	10,296,555,000	9,277,480,612	-1,019,074,388
入院収益	7,885,850,000	7,424,073,500	-461,776,500
外来収益	2,219,899,000	1,719,240,991	-500,658,009
その他医業収益	190,806,000	134,166,121	-56,639,879
運営費負担金収益	3,488,000,000	3,245,242,000	-242,758,000
補助金等収益	909,000	3,797,795,000	3,796,886,000
資産見返負債戻入	98,830,000	123,697,030	24,867,030
			0
営業外収益	84,857,000	83,965,052	-891,948
運営費負担金収益	48,393,000	48,132,000	-261,000
財務収益	0	84	84
その他営業外収益	36,464,000	35,832,968	-631,032
			0
臨時利益	0	0	0
過年度損益修正益	0	0	0
その他特別利益	0	0	0
営業費用	14,381,975,884	13,977,429,751	404,546,133
医業費用	14,381,975,884	13,977,429,751	404,546,133
給与費	6,370,592,000	6,364,250,144	6,341,856
材料費	4,336,181,000	4,026,707,994	309,473,006
経 費	2,295,801,884	2,244,106,113	51,695,771
減価償却費	1,306,922,000	1,291,463,012	15,458,988
研究研修費	72,479,000	50,902,488	21,576,512
営業外費用	195,803,000	744,798,154	-548,995,154
財務費用	80,304,000	80,303,127	873
雑支出	70,000	69,727	273
控除対象外消費税	108,404,000	664,425,300	-556,021,300
消費税及び地方消費税	7,025,000	0	7,025,000
臨時損失	2,229,820	1,951,640	278,180
予備費	0	0	0

第4表 資本的収入、資本的支出及びたな卸資産購入限度額（消費税込み）

科 目	現予算額 (A)	決算額 (B)	差 引 収入(B)-(A);支出(A)-(B)
	円	円	円
資本的収入	693,663,000	674,035,000	-19,628,000
長期借入金	0	0	0
運営費負担金収入	684,285,000	674,035,000	-10,250,000
運営費交付金収入	0	0	0
補助金等収入	9,378,000	0	-9,378,000
工事負担金収入	0	0	0
寄付金収入	0	0	0
出資金	0	0	0
その他資本的収入	0	0	0
資本的支出	635,304,000	556,479,466	78,824,534
建設改良費	635,304,000	556,479,466	78,824,534
施設増改築工事費	2,090,000	2,090,000	0
資産購入費	633,214,000	554,389,466	78,824,534
償還金	0	0	0
企業債償還金	0	0	0
たな卸資産購入限度額	1,831,686,000	973,949,246	857,736,754

第5表 医業収益に対する医業費用の比率（税抜）

（単位：％）

区 分	合 計	給与費	材料費	経 費	減価償却費	研究研修費
令和3年度	145.6	68.6	40.4	22.2	13.9	0.5





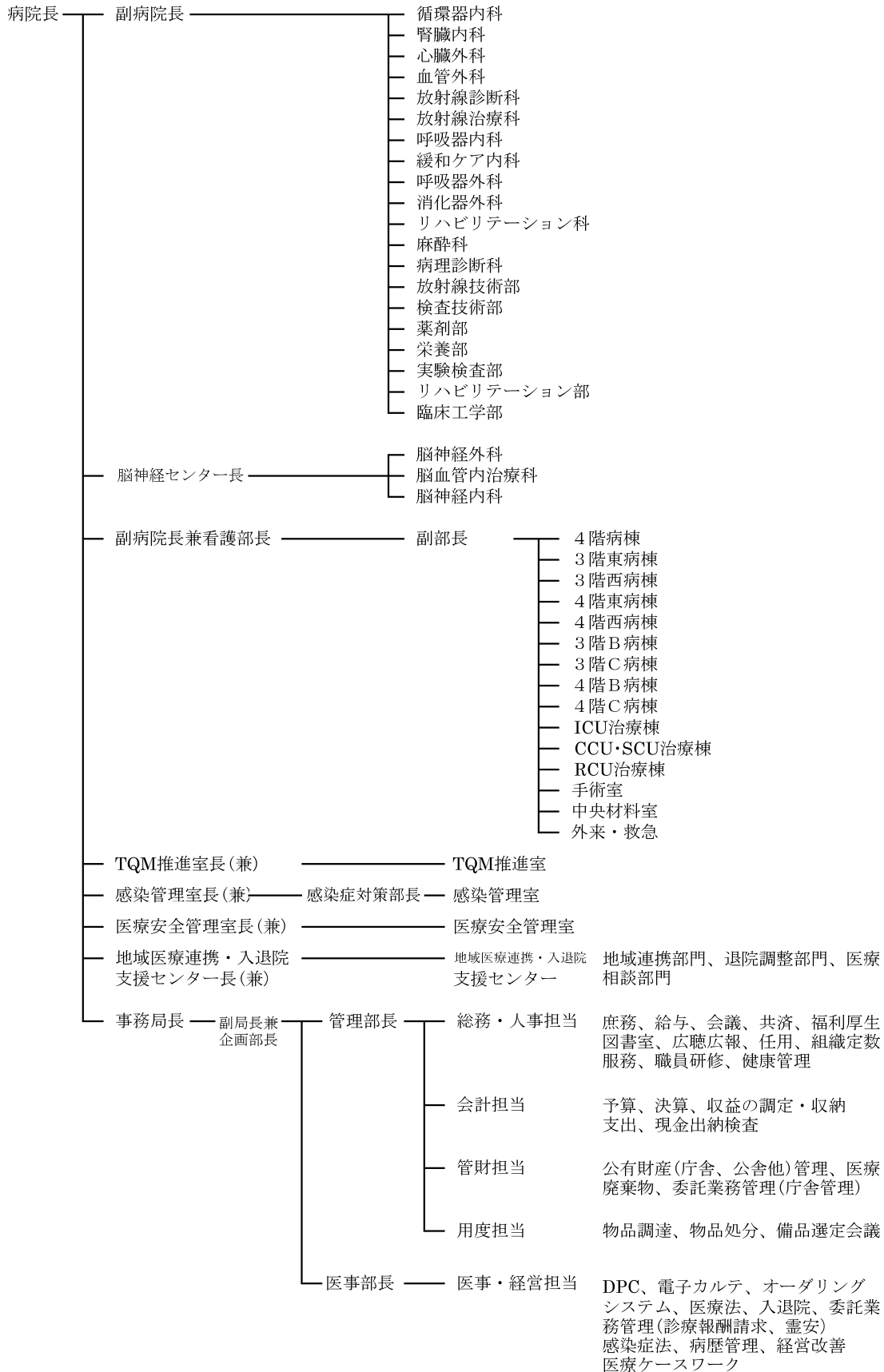
# 第4編

## 組織・施設編



# 第1章 組織

(令和4年3月31日現在)



職種別職員定数・現員数

(令和4年3月31日現在)

職種	一般事務職	医師	薬剤師	臨床検査技師	診療放射線技師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	臨床工学技士	生物科学工学士	看護師	准看護師	栄養士	設備職	医療社会事業職	合計
定数	24	74	24	27	24	10	3	2	18	1	394	0	3	3	2	609
現員	24	56	22	27	25	10	2	2	16	1	403	1	3	3	2	597

## 2 センター内会議及び委員会

センターの管理・運営について協議するため設置されている主な会議及びそれぞれ専門的事項を分掌するため常設されている主な委員会（各業務対応、プロジェクト等の委員会を除く）は、次のとおりである。

名 称	目 的
運 営 会 議	センターの運営・経営に関する基本的事項を協議する。
代 表 者 会 議	センターの運営・経営に関する事項を協議する。
企 画 委 員 会	センターの運営に関する企画・調査及び協議等をする。
医 療 安 全 管 理 委 員 会	医療安全管理対策を総合的に企画、実施する。
医 療 事 故 対 策 委 員 会	重大な医療事故及び原因究明が必要と認めた医療事故について、その原因分析等を行う。
感 染 症 対 策 委 員 会	微生物等の感染を防止し、衛生管理に万全を期す。
T Q M 推 進 委 員 会	センター全体の医療の質の向上のために、トータル・クオリティ・マネジメント（TQM）を行う。
保 険 委 員 会	診療報酬請求に係る諸問題を研究協議し、適切かつ効率的な請求体制を維持する。
診 療 情 報 管 理 委 員 会	病歴及び病歴情報の適正な管理、運用を図る。
倫 理 委 員 会	医師及び研究に携わる者が行う研究等が倫理的配慮の下に行われ、もって患者の人権の擁護が十分に図られているかを審議する。
病 床 管 理 委 員 会	病床の適切かつ効率的な運用を図る。
放 射 線 安 全 委 員 会	放射性同位元素の使用、廃棄その他の取扱い及び放射線発生装置の使用の適正な管理、運営を図る。
特定放射性同位元素防護委員会	防護規程の制定及び改訂、防護に関する教育及び訓練の実施計画等特定放射性同位元素の防護の重要事項を審議する。
輸 血 療 法 委 員 会	血液製剤の安全かつ適正な使用を図る。
薬 剤 委 員 会	医薬品の有効性、安全性及び経済性を検討する。

治 験 審 査 委 員 会	治験及び市販後臨床試験の実施及び継続等について審議する。
化 学 療 法 委 員 会	化学療法及びがん治療の有効性、安全性に関する事項を審議する。
緩 和 ケ ア 委 員 会	がん等の進行性疾患患者及び家族の苦痛緩和、終末期医療における緩和ケアの在り方の倫理的課題等について検討する。
患 者 サ ー ビ ス 委 員 会	患者及びその家族等の満足度の向上を図る。
臨 床 検 査 適 正 化 委 員 会	保険診療に係わる臨床検査の適正な運営を図る。
栄 養 委 員 会	患者給食の適切な栄養管理と円滑な運営を図る。
研 究 委 員 会	医療技術の進歩、改善を目的とした研究を円滑かつ有効に実施する。
図 書 委 員 会	図書室の整備及び運営の円滑化を図る。
防 火 ・ 防 災 管 理 委 員 会	防火・防災管理業務の適正な運営を図る。
医 療 廃 棄 物 適 正 処 理 委 員 会	センターから排出される医療廃棄物の適正処理に関する事項を検討し、適正処理の推進を図る。
医 療 ガ ス 安 全 ・ 管 理 委 員 会	医療ガス設備の安全を図り、患者の安全を確保する。
備 品 ・ 診 療 材 料 選 定 委 員 会	センターで使用する備品及び診療材料等を適正に選定、採用する。
医 療 情 報 シ ス テ ム 委 員 会	医療情報システムについて検討する。
ボ ラ ン テ ィ ア 委 員 会	ボランティア活動の拡大と円滑な受け入れを図る。
衛 生 委 員 会	職員の健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進する。

## 第2章 施設

### 1 敷地及び建物

#### (1) 敷地

病院	66,353.36 m <sup>2</sup>
江南地区宿舎	10,421.55 m <sup>2</sup>
熊谷地区宿舎	2,260.31 m <sup>2</sup>
合計	79,035.22 m <sup>2</sup>

#### (2) 建物

##### ア 建物（病院）

(m<sup>2</sup>)

名称	構造	建築面積	延床面積
本館棟	SRC造地下1階地上5階建	3,775.52	13,663.91
エネルギー棟	RC造地上2階建	588.00	1,069.81
実験検査棟	RC造地上2階建	212.50	425.00
医療ガス棟	CB造地上1階建	100.00	100.00
公用車車庫	CB造地上1階建	103.50	103.50
治療棟	RC造地下1階・地上3階建	1,607.71	4,695.53
A病棟	RC造地上4階建	1,137.57	4,326.58
A病棟機械室	RC造地上1階建	270.00	270.00
RIリニアック棟	RC造地上1階建	738.71	738.71
調理・洗濯棟	S造地上1階建	1,029.62	1,029.62
病歴収納庫	RC造地上1階建	229.62	229.62
汚水処理場	RC造地上2階建	164.75	268.34
廃棄物保管庫	補強CB造地上1階建	55.87	55.87
新館棟	S造地上4階建	3,851.94	14,480.01
その他		812.74	998.15
合計		14,678.05	42,454.65

##### イ 建物（宿舎）

(m<sup>2</sup>)

名称	構造	戸数	建築面積	延床面積
病院長宿舎	RC造地上2階建 5LDK	1	70.68	136.12
副病院長級宿舎	RC造地上2階建 4LDK	2	129.26	250.51
熊谷宿舎	RC造地上4階建 3LDK・3DK	24	583.05	1,951.00
A宿舎（医師）	RC造地上3階建 2K	15	199.35	598.05
B宿舎（看護師）	RC造地上2階建 1K	※20	248.57	497.14
C宿舎（看護師）	RC造地上5階建 1K	40	214.56	1,072.80
D宿舎（看護師）	RC造地上5階建 1K	40	214.56	1,072.80
E宿舎（看護師）	RC造地上5階建 1K	40	214.56	1,072.80
その他	駐輪場ほか		59.75	59.75
合計		186	1,934.34	6,710.97

※20戸中8戸はオンコール待機室

## (3) 附属設備

## ア 電気設備

名 称	仕 様	備 考
受電	2回線受電（本 線…嵐山吉田変電所小原線） （予備線…江南変電所千代線）	
変圧器 (エネルギー棟)	3φ3W 300kVA 6,600/210V	蓄熱々源
	1φ3W 300kVA 6,600/210-105V	一般電灯（1）
	1φ3W 300kVA 6,600/210-105V	一般電灯（2）
	1φ3W 300kVA 6,600/210-105V	一般電灯（3）
	3φ3W 750kVA 6,600/210V	一般動力
	3φ4W 500kVA 6,600/420-242V	血管撮影X線
	3φ3W 100kVA 6,600/480V	CT動力
	1φ2W 50kVA 6,600/210V	一般X線
	3φ3W 300kVA 6,600/420V	一般X線
	3φ3W 150kVA 6,600/420V	MRI動力
	3φ4W 150kVA 6,600/420V	エレベーター動力
	3φ3W 500kVA 6,600/210V	非常動力（2）
	スコット 200kVA 6,600/210-105V	非常電灯（1）
	スコット 200kVA 6,600/210-105V	非常電灯（2）
	3φ3W 150kVA 6,600/210V	医用CVCF
	3φ3W 75kVA 6,600/210V	電算CVCF
3φ3W 200kVA 6,600/210V	空調動力（ESCO）	
(治療棟)	1φ3W 100kVA 6,600/210-105V	一般電灯
	1φ3W 75kVA 6,600/210-105V	非常電灯
	3φ3W 300kVA 6,600/210V	一般動力
	3φ4W 300kVA 6,600/380-220V	X線
	3φ3W 200kVA 6,600/210V	X線
(A病棟)	1φ3W 100kVA 6,600/210-105V	一般電灯
	1φ3W 150kVA 6,600/210-105V	非常電灯
	3φ3W 500kVA 6,600/210V	一般・非常動力
	3φ3W 75kVA 6,600/210V	RI治療
	3φ3W 100kVA 6,600/210V	空調動力（ESCO）
	3φ3W 500kVA 6,600/210V	一般動力



名 称	仕 様	備 考
(汚水)	1φ3W 15kVA 6,600/210-105V	一般電灯
	3φ3W 100kVA 6,600/210V	一般動力
(実験棟)	1φ3W 75kVA 6,600/210-105V	一般電灯
	3φ3W 150kVA 6,600/210V	一般動力
(新館棟)	1φ3W 150kVA 6,600/210-105V	一般電灯 (1)
	1φ3W 150kVA 6,600/210-105V	一般電灯 (2)
	1φ3W 150kVA 6,600/210-105V	一般電灯 (3)
	3φ3W 300kVA 6,600/210V	一般動力 (1)
	3φ3W 300kVA 6,600/210V	一般動力 (2)
	3φ3W 500kVA 6,600/210V	放射線動力 (1)
	3φ3W 500kVA 6,600/415V	放射線動力 (2)
	1φ3W 150kVA 6,600/210-105V	保安・非常用電灯 (1)
	1φ3W 150kVA 6,600/210-105V	保安・非常用電灯 (2)
	3φ3W 500kVA 6,600/210V	保安・非常用動力
	3φ3W 300kVA 6,600/210V	UPS
	計	10,415kVA
非常用発電機	3φ3W 6,600V ガスタービン1,000kVA	循環器系
	3φ3W 200V ディーゼル 200kVA	呼吸器系
	3φ3W 200V ディーゼル 150kVA	A病棟系
	3φ4W 200V ディーゼル 35kVA	実験・汚水系
	3φ3W 200V ディーゼル 25kVA	汚水送水系
	3φ3W 200V ディーゼル 55kVA	災害用井戸
	3φ3W 6,600V ディーゼル 750kVA	新館棟系
常用発電機	3φ 6,600V ガスエンジン 370kVA×2基	
	3φ 6,600V ガスエンジン 700kVA×2基	
CVCF	3φ3W 210V 75kVA×2基	医療用、電算用 (本館棟系)
	3φ3W 210V 100kVA×2基	医療用、電算用 (新館棟系)
直流電源	鉛 400Ah/10HR 54セル	本館棟系
	鉛 150Ah/10HR 12セル	治療棟系
	鉛 200Ah/10HR 54セル	新館棟系
放送設備	非常放送1080W 1台	本館棟系
	960W 1台	新館棟系
	360W 1台	治療棟系
	180W 1台	A病棟系
	120W 1台	調理・洗濯棟系
	スピーカー 1,164台	
	呼び出しアンプ 6台	
火災報知	複合盤 GR型1級 504回線	
	副受信機 P型1級 504回線	
	受信機 P型1級 30回線	
	P型1級 10回線	
	副受信機 P型1級 30回線	

	感知器 1,279個 非常通報装置 1台	
時計設備	親時計 (水晶発振10回線) 1台 (水晶発振 2回線) 1台 (水晶発振 4回線) 1台 受信機 1台 (新館棟) 中継器 14台 (新館棟) 子時計 426台	子時計 新館棟160台

イ 空調設備

名 称	仕 様
冷温水発生機	灯油直焚二重効用吸収式×1台 冷房能力 1,088,000kcal/h 冷水12℃-7℃ 暖房能力 1,000,000kcal/h 温水50℃-55℃
	灯油直焚吸収式×2台 冷房能力 151,200kcal/h 暖房能力 180,000kcal/h
	灯油直焚吸収式×1台 冷房能力 120,960kcal/h 暖房能力 144,000kcal/h
	灯油直焚吸収式×1台 冷房能力 120,960kcal/h 暖房能力 105,680kcal/h
	灯油直焚吸収式×2台 冷房能力 105kw 暖房能力 127kw
廃熱回収型冷温水発生機	ガス直焚吸収式×1台 冷房能力 1,103,687kcal/h 冷水12℃-7℃ 暖房能力 9,815,720kcal/h 温水55℃-60℃
空冷チラー	空冷チリングユニット×2台 冷房能力 77.7kw
空冷ヒートポンプ	ヒートポンプチラー×2台 冷房能力 114.0kw 冷水11℃-6℃ 暖房能力 123.0kw 温水40℃-45℃
	ヒートポンプチラー×1台 3φ200V 53.0kW (ESCO) 冷却能力 212.0kW 加熱能力 171.0kW
水冷チラー	水冷チリングユニット×1台 3φ200V 95.0kW (ESCO) 冷却能力 527.4kW
外気処理ユニット	空冷ヒートポンプ式外気処理ユニット 3組 冷房能力 352kw 暖房能力 245kw
	空冷ヒートポンプ式外気処理ユニット 1組 冷房能力 240kw 暖房能力 171kw
	空冷ヒートポンプ式外気処理ユニット 1組 冷房能力 240kw 暖房能力 171kw
	空冷ヒートポンプ式外気処理ユニット 1組 冷房能力 47kw 暖房能力 34kw

	空冷ヒートポンプ式外気処理ユニット 1組 冷房能力 47kw 暖房能力 34kw
	空冷ヒートポンプ式外気処理ユニット 1組 冷房能力 47kw 暖房能力 34kw
	空冷ヒートポンプ式外気処理ユニット 1組 冷房能力 22.4kw 暖房能力 18.7kw
	空冷ヒートポンプ式外気処理ユニット 1組 冷房能力 14kw 暖房能力 12kw
	空冷ヒートポンプ式外気処理ユニット 1組 冷房能力 14kw 暖房能力 12kw
	空冷ヒートポンプ式外気処理ユニット 1組 A病棟 4階系統 冷房能力 107.4kw 暖房能力 84.7kw
	空冷ヒートポンプ式外気処理ユニット 1組 A病棟 1～3階系統 冷房能力 190.0kw 暖房能力 150.0kw
ガスエンジン空冷式 マルチパッケージ型 空調機 GHP	天井カセット形 12台 冷房能力 56kw 暖房能力 63kw
	天井カセット形 19台 冷房能力 71kw 暖房能力 80kw
	天井カセット形 23台 冷房能力 56kw 暖房能力 63kw
	天井カセット形 15台 冷房能力 35.5kw 暖房能力 40kw
	天井カセット形 12台 冷房能力 71kw 暖房能力 80kw
	天井カセット形 19台 冷房能力 56kw 暖房能力 63kw
	天井カセット形 19台 冷房能力 56kw 暖房能力 63kw

天井カセット形 18台 冷房能力 85kw 暖房能力 95kw
天井カセット形 8台 冷房能力 56kw 暖房能力 63kw
天井カセット形 9台 冷房能力 56kw 暖房能力 63kw
天井カセット形 12台 冷房能力 85kw 暖房能力 95kw
天井カセット形 13台 冷房能力 56kw 暖房能力 63kw
天井カセット形 24台 冷房能力 85kw 暖房能力 95kw
天井カセット形 23台 冷房能力 85kw 暖房能力 95kw
天井カセット形 18台 冷房能力 85kw 暖房能力 95kw
天井カセット形 12台 冷房能力 85kw 暖房能力 95kw
天井カセット形 23台 冷房能力 56kw 暖房能力 63kw
天井カセット形 19台 冷房能力 56kw 暖房能力 63kw
天井カセット形 19台 冷房能力 56kw 暖房能力 63kw
天井カセット形 8台 冷房能力 28kw 暖房能力 31.5kw
天井カセット形 19台 冷房能力 56kw 暖房能力 63kw

	天井カセット形 14台 冷房能力 56kw 暖房能力 63kw
	天井カセット形 16台 冷房能力 28kw 暖房能力 31.5kw
	天井カセット形 24台 冷房能力 71kw 暖房能力 80kw
	天井カセット形 22台 冷房能力 56kw 暖房能力 63kw
	天井カセット形 19台 冷房能力 56kw 暖房能力 63kw
	天井カセット形 18台 冷房能力 56kw 暖房能力 63kw
	天井カセット形 10台 冷房能力 35.5kw 暖房能力 40kw
	天井カセット形 21台 冷房能力 56kw 暖房能力 63kw
	天井カセット形 19台 冷房能力 56kw 暖房能力 63kw
	天井カセット形 11台 冷房能力 35.5kw 暖房能力 40kw
	天井カセット形 20台 冷房能力 71kw 暖房能力 80kw
空冷式 パッケージ型空調機 EHP	天吊型 1台 冷房能力 4.5kw 暖房能力 5.0kw
	天吊型 2台 冷房能力 25kw 暖房能力 28kw
	天井カセット形 4台 冷房能力 22.4kw 暖房能力 25.0kw

	天吊型 1台 冷房能力 4.5kw 暖房能力 5.0kw
	天吊型 1台 冷房能力 7.1kw 暖房能力 8.0kw
蒸気ボイラー	炉筒煙管式×2台 定格出力 3,000kg/h (実際蒸発量) 最高使用圧力10kg/cm <sup>2</sup> 伝熱面積 38.8m <sup>2</sup>
	貫流式 定格出力 1,800kg/h (実際蒸発量) 最高使用圧力10kg/cm <sup>2</sup> 伝熱面積9.62m <sup>2</sup>
	多管式貫流ボイラー×2台 定格出力 898kg/h (実際蒸発量) 伝熱面積4.94m <sup>2</sup>
オイルタンク	埋設式×4基 地上式×1基 容量 30,000ℓ ×2 10,000ℓ ×1 3,000ℓ ×1 1,900ℓ ×1(地上)
空気調和機	94台 (パッケージ・エアハン共)
ファンコイルユニット	547台
全熱交換機	21台
冷却塔	9台
排気ファン	514台
給気ファン	24台

ウ 給排水設備

名 称	仕 様
上水受水槽	鋼板製一体型 有効50m <sup>3</sup> ×2基 FRP製パネル型 有効20m <sup>3</sup> FRP製パネル型 有効20m <sup>3</sup> 鋼板製一体型 有効30m <sup>3</sup> 鋼板製一体型 有効50m <sup>3</sup>
上水高置水槽	FRP製パネル型 有効15m <sup>3</sup> FRP製パネル型 有効6m <sup>3</sup> (衛生用) FRP製パネル型 有効10m <sup>3</sup>
中水高置水槽	FRP製パネル型 有効9m <sup>3</sup> FRP製パネル型 有効11m <sup>3</sup> FRP製パネル型 有効8.5m <sup>3</sup>
中水受水槽	コンクリート製 有効61m <sup>3</sup> コンクリート製 有効80m <sup>3</sup>
貯湯槽	ステンレス鋼板製 3m <sup>3</sup> ×2基 ステンレス鋼板製 2m <sup>3</sup> ×2基 ステンレス鋼板製 5m <sup>3</sup> ×1基
汚水処理槽	活性汚泥長時間ばっき方式 (三次処理) 923人槽 740m <sup>3</sup> /日

R1処理槽	貯留3槽
廃液処理槽	中和凝集沈殿ろ過方式

エ 消火設備

名 称	仕 様
スプリンクラー	ポンプ φ100×900ℓ/min×90m×22 kW 補助散水栓×15台 ポンプ φ100×900ℓ/min×70m×18.5kW ポンプ φ100×900ℓ/min×63m×18.5kW ポンプ φ100×720ℓ/min×106m×22 kW 補助散水栓×47台 ポンプ φ25×20ℓ/min×106m×2.2kW
屋内消火栓	ポンプ φ65×750ℓ/min×68m×18.5kW ポンプ φ100×300ℓ/min×60m×7.5kW
炭酸ガス消火	病歴室 68ℓ/65kgボンベ 13本 (放出1分) エネ棟ボイラー室 68ℓ/65kgボンベ 22本 (放出1分) エネ棟変電室 68ℓ/65kgボンベ 27本 (放出1分) エネ棟機械室 68ℓ/65kgボンベ 18本 (放出1分) エネ棟発電機室 68ℓ/65kgボンベ 8本 (放出1分)
窒素ガス消火	新病歴庫 20.3m <sup>2</sup> ボンベ 36本 (放出1分)
ハロン消火 (1301)	治療棟変電室 68ℓ/60kgボンベ 2本 (放出1分) 機械棟ボイラー室 68ℓ/60kgボンベ 2本 (放出1分)
消火器	10型 (消防署の指定した数量)

オ 医療ガス設備

名 称	仕 様
液酸タンク	5型 貯蔵量4,500m <sup>3</sup>
予備酸素	ボンベ2列20本立て
笑気	2列8本立て
窒素	2列8本立て

カ 通信設備

名 称	仕 様
電話	局線実装20回線 内線実装534回線
インターホン	CCU用・中材用・手術用 臨床工学用・アンギオ用・CT・MRI用・薬局用・全館用 ICU用・RCU用
ナースコール	病棟用 60局×5台 CCU用 20局 総合処置室 4局 発熱・感染症外来 2局 新病棟用 40局×4台 ICU用 25局 RCU用 25局 外来用 20局×3台



	腎・透析センター用 20局
院内PHS	子機 403台実装 (内ナースコール連動 101台)

キ 搬送設備

名 称	仕 様
エレベーター	1号機 積載量1,000kg 1～4階停止 寝台用 (A病棟)
	3号機 積載量1,000kg 1～4階停止 人荷用 (A病棟)
	4号機 積載量 850kg 1～4階停止 寝台用 (A病棟)
	5号機 積載量1,000kg 1～3階停止 寝台用 (治療棟)
	6号機 積載量1,000kg 1～3階停止 寝台用 (治療棟)
	7号機 積載量 750kg 1～5階停止 寝台用 (本館棟)
	8号機 積載量1,000kg 1～5階停止 寝台用 (本館棟)
	9号機 積載量1,000kg 1～2階停止 寝台用 (本館棟)
	10号機 積載量 750kg 1～5階停止 寝台 (本館棟)
	11号機 積載量1,200kg B1～5階停止 人荷 (本館棟)
	12号機 積載量 30kg 1～2階停止 小荷物用 (本館棟)
	新館棟1号機 積載量1,000kg 1～4階停止 寝台用 (新館棟)
	新館棟2号機 積載量1,000kg 1～4階停止 寝台用 (新館棟)
	新館棟3号機 積載量1,500kg 1～4階停止 寝台用 (新館棟)
	新館棟4号機 積載量1,000kg 1～4階停止 寝台用 (新館棟)
新館棟5号機 積載量 50kg 1～2階停止 小荷物用 (新館棟)	
自走台車	7kg／コンテナ 15ステーション 水平速度 30m/分 垂直速度 24m/分
気送管	1kg／33ステーション 速度 4～6m/秒
ボックスコンベア	15～20kg/台 5ステーション 水平速度 30～60m/分 垂直速度 6～20m/分

## 2 主要備品（購入額 1,000 万円以上）

品名	規格	台数	取得年度
<b>〔放射線機器〕</b>			
R I モニタリングシステム	MSR 500 (アロカ)	1	2
リニアックシステム	LightSpeed Ultra16 (GE横河メディカル)	1	15
磁気共鳴画像診断装置	Intera Achieva Nova Dual (フィリップス)	1	16
コンピューターラジオグラフィ	FCR VEROCITY U (富士メディカル)	1	16
血管撮影装置	Allura Aper FD10/10 (フィリップス)	2	17
汎用超音波診断装置	Aplio XV (東芝メディカル)	1	18
ガンマカメラ	Infinia Hawkeye4 (GE横河メディカル)	1	19
デジタルX線TVシステム	ZEXIRA FPD1717 (東芝メディカルシステムズ)	1	21
内視鏡X線TV装置	EXAVISTA (日立メディコ)	1	23
高速X線CT装置	Discovery CT750HD (GEヘルスケア・ジャパン)	1	24
3テスラMRI装置	Ingenia 3.0T (フィリップス)	1	25
汎用血管撮影装置	INFX-8000X (東芝メディカルシステムズ)	1	26
X線一般撮影装置 (頭部)	RADspeedPRO (島津製作所)	1	26
X線一般撮影装置 (胸部)	RADspeedPRO (島津製作所)	1	26
高速・高解像度バーチャルスライドスキャナ	NanoZOOMer-XR (浜松ホトニクス)	1	26
外科用イメージ装置	BV Pulsela12 (フィリップス)	1	27
汎用超音波画像診断装置	LOGIQ E9 XDClear (GEヘルスケア・ジャパン)	1	27
血管X線撮影装置	Allura Clarity FD20 (フィリップス)	1	28
放射線治療計画CT装置	DiscoveryRT (GEヘルスケア・ジャパン)	1	30
全身用X線CT装置	IQon Spectral CT (フィリップス)	1	R2
脳外科用バイプレーン血管造影X線撮影装置	Azurion 7B 20/15 (フィリップス)	1	R2
回診用X線撮影装置	Sirius Starmobile tiara (日立)	1	R2
高精度放射線治療システム	True Bean (日本電子応用)	1	R3
血管撮影装置	Azurion 7B 12/12 (フィリップス)	2	R3
汎用超音波画像診断装置	LOGIQ E10s (GEヘルスケア・ジャパン)	1	R3
<b>〔臨床検査機器〕</b>			
心臓超音波診断装置	SONOS7500 (フィリップス)	1	15
心臓超音波診断装置	Vivid7 (GE横河)	1	18
デジタル脳波計システム	EEG-1518 (日本光電)	1	18
全自動細菌検査装置	バイオテック2 (日本バイオメリュー)	1	18
超音波診断装置	HD11XE (フィリップス)	2	18
筋電図・誘発電位検査装置	MEB-2300 ニューロパック (日本光電)	1	19
長時間心電図記録解析装置	CardioREV DSC-3300 (日本光電)	1	20
超音波画像診断装置	iE33 (フィリップス)	1	21
EPワークメイトシステム	WMU-08-03(セント・ジュード・メディカル)	1	22
臨床用ポリグラフ	RMC-4000M (データスコープ)	1	22
心臓超音波診断装置システム	iE33 (フィリップス)	1	23
肺機能検査システム	CHESTAC-8900 (チェスト)	1	23
心臓超音波診断装置	Vivid E9 (GEヘルスケア・ジャパン)	1	23
心臓超音波診断装置	Vivid E9 Pro (GEヘルスケア・ジャパン)	1	24
全自動マイクロプレートEIA分析装置	AP-X (協和メディックス)	1	25
電気生理用三次元画像システム	バイオセンスCARTO3 (ジョンソン・アンド・ジョンソン)	1	25
超音波画像診断装置	Vivid Q (GEヘルスケア・ジャパン)	1	26
超音波画像診断装置	ACUSON SC2000 (シーメンス)	1	27
大動脈バルーンポンプ	CARDIOSAVE-H (マッケジャパン)	1	28
超音波診断装置	EPIQCVx3D (フィリップス)	1	30
心エコー装置	EPIQ7C (フィリップス)	1	R2
自動採血管準備装置システム	BC・ROBO 8001 RFID (テクノメディカ)	1	R3

品名	規格	台数	取得年度
<b>〔内科機器〕</b>			
血管内画像診断装置	イメージングシステム s5r (ボルケーノ)	1	21
内視鏡カメラシステム	BIMAGE1 (日本ストライカー)	1	26
電子内視鏡システム	LISERA ELITE (オリンパス)	1	26
オンライン血液透析装置ネットワーク構築電子カルテ接続費用など	東レ	1	29
<b>〔外科機器〕</b>			
腹腔鏡手術器械セット	WA5023B (オリンパス)	1	20
気管支ビデオスコープシステム	CLV-260SL BF-UC200FW (オリンパス)	1	21
ICG内視鏡手術システム	1688 4Kカメラシステム (日本ストライカー)	1	R2
<b>〔手術機器〕</b>			
人工心肺装置	メラHAS型 (泉工医科工業)	1	13
自動麻酔記録システム	ORSYS Vre4 (フィリップス)	1	21
人工心肺装置	メラHAS-II型 (泉工医科工業)	1	22
手術用无影灯システム	PowerLED (MAQUET)	1	23
血管内診断装置	iLab Cart System (ホストン・サイエンティフィック)	1	23
開頭ドリルシステム	開頭ドリルシステム (エースクラップ)	1	24
補助人工心臓駆動装置	モバートNCVC (ニプロ)	1	25
補助人工心臓駆動装置	VCT-50 (ニプロ)	1	25
大動脈内バルーンポンプ	CARDIOSAVE-H	1	25
補助人工心臓駆動装置	モバートNCVC (ニプロ)	1	26
大動脈バルーンポンプ	CARDIOSAVE-H (マッケジャパン)	1	26
カーボン手術台	マグナス手術台1180 (マッケ)	1	28
映像システム	ティグリス (マッケ)	1	28
手術室映像システム	RM-650 (クリプトン)	1	28
无影灯他一式	POWER LED 700 (マッケ)	1	28
超音波診断装置	EPIQ7 (フィリップス)	1	28
手術映像用サーバ	OPELIO SERVER (セブンスティメンションデザイン)	1	28
胸腔鏡手術システム	1488-010-001 (日本ストライカー)	1	28
超音波診断装置	LOGIQS8WithXDClear (GEヘルスカージャパン)	1	28
超音波画像診断装置	EPIQ CVxi UltrasoundSystem(フィリップス)	1	R2
手術用顕微鏡	KINEVO900 HD2D (カールツァイス)	1	R2
経皮的補助循環装置	SP-200 (テルモ)	1	R2
脳神経外科手術用ナビゲーションシステム	M455001B058 (日本メトロック)	1	R3
人工心肺装置	HASIII (泉工医科工業)	1	R3
<b>〔リハビリ機器〕</b>			
マルチエクササイズテストシステム	ML-3600ほか (フクダ電子)	1	23
磁気刺激装置	マグプロR30 (マグベンチャー)	1	27
<b>〔病棟機器〕</b>			
セントラルモニターシステム	DS-5700システム (フクダ電子)	1	15
セントラルモニターシステム	M3154B (フィリップス)	1	16
セントラルモニタリングシステム	M8010A (フィリップス)	1	17
セントラルモニタリングシステム	M8010A (フィリップス)	1	18
患者監視装置 (3西)	セントラルモニタシステム (日本光電)	1	18
患者監視装置 (A1、A2)	セントラルモニタシステムCNS-9601他 (日本光電)	1	20
患者監視装置 (A3、A4)	セントラルモニタシステムCNS-9601他 (日本光電)	1	21
セントラルモニタリングシステム	Intellivue telemetry system (フィリップス)	1	24
患者監視装置 (3東)	セントラルモニタシステムCNS-6201他 (日本光電)	1	27
セントラルモニタリングシステム(ICU用)	IntelliVue インフォメーションセンター-iX (フィリップス)	1	28
セントラルモニタリングシステム(RCU用)	IntelliVue インフォメーションセンター-iX (フィリップス)	1	28
患者監視装置 (4西)	セントラルモニタシステムCNS-6201他 (日本光電)	1	R1
患者監視装置 (3西)	セントラルモニタシステムCNS-6201他 (日本光電)	1	R3

品名	規格	台数	取得年度
〔薬剤機器〕 全自動錠剤分包システム	Xana-2720EU (トーショー)	1	19
〔中材機器〕 高圧蒸気滅菌装置	VCR-G12W (サクラ精機)	1	22
高圧蒸気滅菌装置	VCR-G12W (サクラ精機)	1	23
ハイブリッド高圧蒸気滅菌器	HS6613TDR2LTSF-SR (ケティンケジヤハン)	1	28
プラズマガス滅菌器	ステラッド100S (ジョンソンエンドジョンソン)	1	30
〔その他機器〕 個別自動検索システム	シングルピッカーシステム (イトーキ)	1	5
自動検索システム	T-50 (岡村製作所)	1	5
映像・音響装置	WP-1100 (松下電器産業)	1	5
高速度撮影用ビデオカメラシステム	HSV-1000 (ナック)	1	6
病歴自動収納庫	システムトリーブ MTC-1024 (イトーキ)	1	16
P H S 対応ナースコール	ハンディナースコール設備 (ケアコム) システム	1	16
病歴自動収納庫	マトリーブ MTC-1024 (イトーキ)	1	17
医事情報システム	IBM・HPサーバーPC他 (シーメンス亀田)	1	22
手術部門看護記録機能	ORSYS看護記録機能 (フィリップス)	1	24
個別自動検索システム管理機器	SPARC Enterprise M3000 (イトーキ)	1	24
自動精算機システム	FHP10 (ソフトマックス)	1	24
細菌検査システム	SMILE HONEST	1	27
心電図ファイリングシステム	EFS-8000 (フクダ電子)	1	27
ホルター心電図・脳波検査システム	Prime Vita (日本光電)	1	27



# 年 報 第 28 号

令和 4 年 11 月発行

編集・発行 埼玉県立循環器・呼吸器病センター

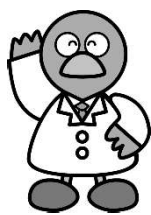
〒360-0197 埼玉県熊谷市板井1696

TEL 048(536)9900

FAX 048(536)9920

印刷製本 株式会社ニッショープリント

埼玉県のマスコット コバトン&さいたまっち



コバトン



さいたまっち



コバトン